

学 年

4

令和7年度

シラバス

令和7年度 前学期

シラバス

SYLLABUS
for
STUDENTS



三

第4学年 前学期



日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和7年度 第4学年
シラバス Syllabus for students

本書の使い方.....	1
授業科目の履修時期と単位数.....	2
前学期授業科目.....	5

本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

授業科目の履修時期と単位数

【2025年度第4学年以降】

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
心理学概論	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
基礎化学	1.5													
化学	3													
化学実習	1													
基礎生物学	1.5													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナリズム	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
歯科医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
医の倫理	1.5													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英语	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													
衛生・公衆衛生学	3													
口腔保健学	3													
口腔衛生学	1.5													
衛生学・口腔衛生学実習	1													
歯科理工学	4.5													
歯科理工学実習	1													
病理学	4.5													
病理学実習	1													
スポーツ歯学	1													
プロフェッショナルリズム 2	1.5													
臨床につなげる基礎学と教養	1.5													
地域連携・在宅医療概論	1.5													
歯科法医学	1.5													
生命歯学探究	1.5													
生命歯学探究実習	1													
コミュニケーション概論実習	1													
歯科硬組織修復学	4.5													
歯科硬組織修復学実習	1													
歯内療法学	4.5													
歯内療法学実習	1													
歯周病学	4.5													
歯周病学実習	1													
全部床義歯補綴学	3													
全部床義歯補綴学実習	1													
部分床義歯補綴学	3													
部分床義歯補綴学実習	1													
歯冠補綴学	4.5													
歯冠補綴学実習	1													
口腔外科学	3													
口腔内科学	3													
口腔外科の基本手技実習	1													
歯科矯正学	3													
歯科矯正学実習	1													
小児歯科学	3													
小児歯科学実習	1													
歯科放射線学	4.5													
高齢者歯科学	1.5													
外科学	1.5													

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
内科学	1.5													
歯科麻酔・救急処置	3													
総合基礎歯学	2													
統合臨床基礎学実習	1													
障害者歯科学	1													
口腔インプラント学	1.5													
総合歯科医学	3													
臨床実習	5													
基礎医学演習 1	1													
基礎医学演習 2	1													
総合基礎医学演習 1	1													
総合基礎医学演習 2	1													
臨床歯学探究	1													
総合科目①②③	3													
包括歯科医学①②	1													

単位合計数	199.5単位
-------	---------

前学期授業科目

歯科矯正学実習	18
歯科矯正学	20
口腔内科学	22
歯科硬組織修復学	24
歯内療法学	28
歯内療法学実習	32
小児歯科学実習	36
小児歯科学	40
歯科麻酔・救急処置	42
歯冠補綴学実習	46
全部床義歯補綴学実習	48
歯科放射線学	50
歯冠補綴学	52
歯周病学	54
部分床義歯補綴学	58
(計 15科目)	

Laboratory Practice in Orthodontics	18
Orthodontics	20
Oral Medicine	22
Operative Dentistry	24
Endodontics	28
Laboratory Practice in Endodontics	32
Laboratory Practice in Pediatric Dentistry	36
Pediatric Dentistry	40
Dental Anesthesiology and Emergency Treatment	42
Practice of Crown & Bridge Prosthodontics	46
Laboratory Practice in Complete Denture Prosthodontics	48
Oral Radiology	50
Crown & Bridge Prosthodontics	52
Periodontics	54
Removable Partial Denture Prosthodontics	58

(計 15科目)

令和7年度（第4学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:40)	13:10)	14:50)	16:30)
	10:30	12:10	14:40	16:20	18:00
月	歯科矯正学 (実習：新井)		歯科矯正学 (新井)	口腔内科学 (松野/石垣) 有病者歯科学を含む	※
火	歯科硬組織修復学 (講座代表者)	歯内療法学 (講座代表者)	歯内療法学 (実習：講座代表者)		※
水	小児歯科学 (実習：荏部)		小児歯科学 (荏部)	歯科麻酔・救急処置 (砂田)	※
木	歯冠補綴学 (実習：五味)		全部床義歯補綴学 (実習：隅田)		※
金	歯科放射線学 (河合)	歯冠補綴学 (五味)	歯周病学 (沼部)	部分床義歯補綴学 (隅田)	※

- 1) 授業期間 令和7年4月4日(金)～令和7年7月18日(金)
令和7年7月16日(水)～令和7年7月18日(金)は授業予備日)
(令和7年7月22日(火)～令和7年8月19日(火)は夏期休業)

- 2) 講 堂 152講堂（実習科目は臨床基礎実習室で行う）

- 3) その他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。
②ワクチン接種は16時30分から実施（詳細は後日掲示）。
③9月と12月に学外業者模試を実施（詳細は後日掲示）。

準備学習 課題一覧

使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

歯科矯正学実習

月曜日 1・2限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	実習書P.1～P.36を読み、要点を確認する。	
ユニット2	実習書P.37～P.45を読み、要点を確認する。	
ユニット3	実習書P.37～P.45を読み、要点を確認する。	
ユニット4	実習書P.46～P.66を読み、要点を確認する。	
ユニット5	実習書P.67～P.90を読み、要点を確認する。	
ユニット6	実習書P.67～P.90を読み、要点を確認する。	
ユニット7	実習書P.67～P.90を読み、要点を確認する。	
ユニット8	実習書P.67～P.90, P91～P.113を読み、要点を確認する。	
ユニット9	実習書P91～P.113を読み、要点を確認する。	
ユニット10	実習書P91～P.113を読み、要点を確認する。	
ユニット11	実習書P91～P.113を読み、要点を確認する。	
ユニット12	実習書P.156～P.164を読み、要点を確認する。	
ユニット13	実習書P.156～P.164を読み、要点を確認する。	

歯科矯正学

月曜日 3限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	実習書(歯科矯正学実習, 初版)P.1～P.36を読み、要点を確認する。	
ユニット2	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.195～P.199を読み、要点を確認する。	
ユニット3	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.200～P.211を読み、要点を確認する。	
ユニット4	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.212～P.217, P402～420を読み、要点を確認する。	
ユニット5	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.218～P.242, P.249～P.257を読み、要点を確認する。	
ユニット6	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.242～P.249, P.257～P.268を読み、要点を確認する。	
ユニット7	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.269～P.293を読み、要点を確認する。	
ユニット8	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.297～P.341を読み、要点を確認する。	
ユニット9	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.342～P.350, P.294～296を読み、要点を確認する。	
ユニット10	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.351～P.387を読み、要点を確認する。	
ユニット11	教科書(歯科矯正学, 第7版)P.388～P.401を読み、要点を確認する。	
ユニット12	ユニット1～11の内容を復習しておく。	
ユニット13	ユニット1～11の内容を復習しておく。	

口腔内科学

月曜日 4限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	有病者歯科学p.2-8を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	有病者歯科学p.117-128を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	有病者歯科学p.128-138,215-223を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	有病者歯科学p.138-158を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	有病者歯科学p.158-182を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	有病者歯科学p.162-191,198-202, 224-239を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	口腔内科学p.152－180,歯科の処方に役立つ本p.35－40を読み, 内容を確認する。	
ユニット8	口腔内科学p.54－86を読み, 内容を確認する。	
ユニット9	口腔内科学p.87－103, 121－122, 142－145を読み, 内容を確認する。	
ユニット10	口腔内科学p.616－627を読み, 内容を確認する。	
ユニット11	口腔内科学p.551－567を読み, 内容を確認する。	
ユニット12	口腔内科学p.184－199を読み, 内容を確認する。	
ユニット13	ユニット1～12の内容を復習する。	

歯科硬組織修復学

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書P253～255の要点を確認する。	
ユニット2	教科書P256～258の要点を確認する。	
ユニット3	教科書P259～262の要点を確認する。	
ユニット4	教科書P262～264の要点を確認する。	
ユニット5	教科書P264～273の要点を確認する。	
ユニット6	教科書P241～252の要点を確認する。	
ユニット7	教科書P225～252の要点を確認する。	
ユニット8	教科書P287～296の要点を確認する。	
ユニット9	これまでの履修範囲の要点を再確認する。	
ユニット10	教科書P275～285の要点を確認する。	
ユニット11	教科書P279～310の要点を確認する。	
ユニット12	教科書P72～79の要点を確認する。	
ユニット13	総履修範囲の要点を再確認する。	

歯内療法学

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「歯内療法学」p.22～23, 46～49を確認する。	
ユニット2	「歯内療法学」p.67～71, 39～46, 141～142を確認する。	
ユニット3	「歯内療法学」p.46～49, 67～84, 177～179を確認する。	
ユニット4	「歯内療法学」p.57～62, 86～88, 171～172を確認する。	
ユニット5	「歯内療法学」p.71～80を確認する。	
ユニット6	「歯内療法学」p.80～82を確認する。	
ユニット7	「歯内療法学」p.83～84, 115～142を確認する。	
ユニット8	「歯内療法学」p.115～142を確認する。	
ユニット9	「歯内療法学」p.124～138を確認する。	
ユニット10	「歯内療法学」p.83～84, 138～142, 151～160を確認する。	
ユニット11	「歯内療法学」p.131～134を確認する。	
ユニット12	「歯内療法学」p.107～114, 124～138, 143～145, 146～150を確認する。	
ユニット13	「歯内療法学」p.99～114, 180～182を確認する。	

歯内療法学実習

火曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット2	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット3	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット4	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット5	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット6	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット7	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット8	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット9	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット10	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット11	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット12	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
ユニット13	歯内療法学実習書の実習内容の要点, 参考書の関連分野を確認する。	

小児歯科学実習

水曜日 1・2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第3章p.21-25 を読む。	
ユニット2	3年歯科硬組織修復学実習で学んだ基礎的な技能・態度を復習する。小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第4章p.26-32 を読む。	
ユニット3	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第2章p.2-10 を読む。	
ユニット4	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第12章p.97-99 および 第19章p.154-156を読む。	
ユニット5	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第5章p.33-39 を読む。	
ユニット6	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第7章p.53-57 を読む。	
ユニット7	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第5章p.33-39および 第7章p.53-57 を読む。	
ユニット8	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第6章p.40-44 を読む。	
ユニット9	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第7章p.45-52 を読む。	
ユニット10	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第6章p.40-44および 第7章p.45-52 を読む。	
ユニット11	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第17章p.130-137および 第9章 p.62-67 を読む。小児歯科学第6版 第16章 p.302-308を読む。	
ユニット12	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第9章 p.62-67 を読む。	
ユニット13	小児歯科学実習基礎・臨床実習第3版 第18章 p.146-151, 第12章 p.94-97 および 第19章 p.152-154を読む。	

小児歯科学

水曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	小児歯科学第6版 第11章p.162-170 を読む。	
ユニット2	小児歯科学第6版 第11章p.194-212 を読む。	
ユニット3	小児歯科学第6版 第18章p.401-412 を読む。	
ユニット4	小児歯科学第6版 第18章p.368-391 を読む。	
ユニット5	小児歯科学第6版 第18章p.391-401 を読む。	
ユニット6	小児歯科学第6版 第17章p.338-367 を読む。	
ユニット7	小児歯科学第6版 第11章p.212-231 を読む。	
ユニット8	小児歯科学第6版 第16章p.299-314, 320-327 を読む。	
ユニット9	小児歯科学第6版 第16章p.315-319, 328-337 を読む。	
ユニット10	小児歯科学第6版 第13章p.247-257 を読む。	
ユニット11	小児歯科学第6版 第13章p.247-257 を読む。	
ユニット12	小児歯科学第6版 第15章p.287-298および 第14章p.278-286 を読む。	
ユニット13	小児歯科学第6版 第11章p.170-184を読む。	

歯科麻酔・救急処置

水曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯科麻酔学第8版p1-24の要点を確認する。	
ユニット2	歯科麻酔学第8版p108-122の要点を確認する。	
ユニット3	歯科麻酔学第8版p122-140の要点を確認する。	
ユニット4	歯科麻酔学第8版p140-158の要点を確認する。	
ユニット5	歯科麻酔学第8版p71-79,506-510,516-521の要点を確認する。	
ユニット6	歯科麻酔学第8版p510-516の要点を確認する。	
ユニット7	歯科麻酔学第8版p37-50,59-70,325-344の要点を確認する。	
ユニット8	歯科麻酔学第8版p314-325,345-356,387-392の要点を確認する。	
ユニット9	歯科麻酔学第8版p357-378,392-394の要点を確認する。	
ユニット10	歯科麻酔学第8版p533-550の要点を確認する。	
ユニット11	歯科麻酔学第8版p533-550,563-571の要点を確認する。	
ユニット12	歯科麻酔学第8版p159-172の要点を確認する。	
ユニット13	歯科麻酔学第8版p172-196の要点を確認する。	

歯冠補綴学実習

木曜日 1・2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
ユニット2	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
ユニット3	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
ユニット4	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
ユニット5	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット6	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
ユニット7	実習講義資料をダウンロードし、実習書の内容とともに予習する。	
ユニット8	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット9	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット10	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット11	支台歯形成法，前回までの実習内容を整理する。	
ユニット12	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	
ユニット13	実習講義資料をダウンロードし、予習する。	

全部床義歯補綴学実習

木曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	有床義歯補綴学実習書 1～18頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	有床義歯補綴学実習書 19～22頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	有床義歯補綴学実習書 23～25, 27～29, 32頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット4	有床義歯補綴学実習書 26～27, 29～32頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット5	有床義歯補綴学実習書 33～38頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	有床義歯補綴学実習書 39～49頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	有床義歯補綴学実習書 49～63頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	有床義歯補綴学実習書 64～69頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	有床義歯補綴学実習書 70～73頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	有床義歯補綴学実習書 74～77頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	有床義歯補綴学実習書 78～79頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	有床義歯補綴学実習書 80～102頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	有床義歯補綴学実習書 1～102頁を読み, 要点を確認する。	

歯科放射線学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書(歯科放射線学第7版)・第5章p353-368で講義内容の確認を行う。	
ユニット2	教科書・第5章p369-383で講義内容の確認を行う。	
ユニット3	教科書・第5章p384-399で講義内容の確認を行う。	
ユニット4	教科書・第5章p429-434で講義内容の確認を行う。	
ユニット5	教科書・第5章p406-420で講義内容の確認を行う。	
ユニット6	教科書・第4章p228-232で講義内容の確認を行う。	
ユニット7	教科書・第4章p93-109で講義内容の確認を行う。	
ユニット8	教科書・第4章p140-147で講義内容の確認を行う。	
ユニット9	教科書・第2章p33-50で講義内容の確認を行う。	
ユニット10	教科書・第6章p453-482で講義内容の確認を行う。	
ユニット11	教科書・第2章p51-62で講義内容の確認を行う。	
ユニット12	教科書1章～4章の学習内容の総復習を行う。	
ユニット13	教科書・第5章p319-334の確認, これまでの学習内容の総復習を行う。	

歯冠補綴学

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.114-125を予習する。	
ユニット2	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.126-133を予習する。	
ユニット3	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.145-150を予習する。	
ユニット4	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.134-144を予習する。	
ユニット5	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.151-158, 170-182を予習する。	
ユニット6	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.159-161, 182-185を予習する。	
ユニット7	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.186-193を予習する。	
ユニット8	前回までの学習内容を整理する。	
ユニット9	前回までの学習内容を整理する。	
ユニット10	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.200-203, 283-284を予習する。	
ユニット11	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.204-207, 296-301を予習する。	
ユニット12	クラウンブリッジ補綴学第6版 P.218-256を予習する。	
ユニット13	前期の講義内容を復習する。	

歯周病学

金曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p100-103を予習する。	
ユニット2	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p104-109を予習する。	
ユニット3	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p110-120を予習する。	
ユニット4	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p120-128を予習する。	
ユニット5	:教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p128-141を予習する。	
ユニット6	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p142-145,148-155を予習する。	
ユニット7	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p177-181を予習する。	
ユニット8	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p177-181を予習する。	
ユニット9	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p146-147,156-169を予習する。	
ユニット10	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p146-147,156-169を予習する。	
ユニット11	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p170-176を予習する。	
ユニット12	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p182-193を予習する。	
ユニット13	教科書 ザ・ペリオドントロジー 第4版 第5章 p194-199を予習する。	

部分床義歯補綴学

金曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	歯学生のパーシャルデンチャー 12～17, 51, 57～66頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット2	歯学生のパーシャルデンチャー 12, 13, 31～36, 52～56頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット3	歯学生のパーシャルデンチャー 83～90頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット4	歯学生のパーシャルデンチャー 83～90頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット5	ユニット1～4の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	
ユニット6	歯学生のパーシャルデンチャー 90～93, 244～253頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット7	歯学生のパーシャルデンチャー 94～100頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット8	歯学生のパーシャルデンチャー 108～126頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット9	歯学生のパーシャルデンチャー 127～130, 135～137, 179～190頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット10	歯学生のパーシャルデンチャー 131～135, 179頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット11	歯学生のパーシャルデンチャー 138～151頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット12	歯学生のパーシャルデンチャー 152～163頁を読み, 要点を確認する。	
ユニット13	前期の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	

歯科矯正学実習

月曜日 9:00~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として不正咬合を治療する際の必要な要件を身につけるために、基本的な矯正装置の製作および症例分析を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
後藤滋巳 他 編	歯科矯正学	第7版	医歯薬出版
西井 康 他 著	歯科矯正学エッセンシャルテキスト	初 版	永末書店
新井一仁 他 著	歯科矯正学実習	初 版	医歯薬出版

担当者一覧

新井一仁, 磯部真帆, 小川絢大, 奥田美沙, 嘉悦茉美, 片岡彩乃, 勝浦杏奈, 呉屋 龍, 古賀一輝, 今野喜文, 齋藤絵里佳, 佐藤瑤子, 柴崎絢香, 鈴木章弘, 鈴木美智子, 世古口なつね, 舘 晶彦, 土持 宇, 土井百合香, 栃木啓佑, 富田理絵, 仲谷 豊, 久 星子, 藤田真澄, 藤田由希子, 藤原由梨, 松原 萌, 真鍋 望, 矢澤 貴, 若山雄一郎, 和田健一郎, 渡邊大悟, 渡邊浩幸

学習方略

☒ 講義 ☒ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [10%] ☐ 論述試験 [%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☒ 観察記録 [90%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

歯科矯正学実習終了直後: 本館7階臨床実習室 (AV操作室)
毎週月曜日 17:00~18:00: 100周年記念館3階 歯科矯正学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	柴崎 絢香	ユニット1: 診 断	1) 顔面写真, 口腔内写真を評価する。(G-3-⑫) 2) 模型計測法を列記する。(G-3-⑫) 3) 模型計測の意味を説明する。(G-3-⑫) 4) 模型計測の結果を判断する。(G-3-⑫)
4月14日	栃木 啓佑	ユニット2: ワイヤーベンディング (1)	1) ワイヤーの特性を説明する。(D-2-④) 2) プライヤーの使用法に熟練する。(D-2-④) 3) ループの使用目的を説明する。(D-2-④) 4) 目的に応じたワイヤーを屈曲する。(D-2-④)
4月21日	栃木 啓佑	ユニット3: ワイヤーベンディング (2)	1) ワイヤーの特性を説明する。(D-2-④) 2) プライヤーの使用法に熟練する。(D-2-④) 3) ループの使用目的を説明する。(D-2-④) 4) 目的に応じたワイヤーを屈曲する。(D-2-④)
5月12日	土持 宇	ユニット4: 自在ろう着	1) ろう着に用いる機器の使用方法を説明する。(D-1-①) 2) ろう着の原理を説明する。(D-1-②) 3) フラックスの用途を説明する。(D-2-④) 4) 自在ろう着を実施する。(D-2-④) 5) 補助弾線をろう着し屈曲する。(D-2-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	鈴木 章弘	ユニット5：舌側弧線装置（1）	1）舌側弧線装置の構造・目的・作製手順を説明する。（E-4-1）-⑤） 2）バンド装着の手順を列記する。（E-4-1）-⑤） 3）模型にバンドを適合させる。（E-4-1）-⑤） 4）維持装置の構造を説明する。（E-4-1）-⑤） 5）維持装置の溶接をする。（E-4-1）-⑤） 6）印象採得を実施する。（E-4-1）-⑤） 7）作業模型を製作する。（E-4-1）-⑤）
5月26日	鈴木 章弘	ユニット6：舌側弧線装置（2）	1）舌側弧線装置の外形線を記入する。（E-4-1）-⑤） 2）舌側弧線装置を設計する。（E-4-1）-⑤） 3）維持装置のろう着を実施する。（E-4-1）-⑤） 4）ワイヤーの選択方法を説明する。（E-4-1）-⑤） 5）主線・維持部の屈曲をする。（E-4-1）-⑤）
6月2日	鈴木 章弘	ユニット7：舌側弧線装置（3）	1）主線をろう着する。（E-4-1）-⑤） 2）補助弾線の目的と種類を説明する。（E-4-1）-⑤） 3）補助弾線のろう着と屈曲をする。（E-4-1）-⑤） 4）舌側弧線装置を実習用模型に合着する。（E-4-1）-⑤）
6月9日	鈴木 章弘 舘 晶彦	ユニット8：舌側弧線装置（4）／アクチバートル（1）	1）舌側弧線装置による歯の移動様式を説明する。（E-4-1）-⑤） 2）舌側弧線装置による歯の移動を観察する。（E-4-1）-⑤） 3）アクチバートルの構造・目的・作製手順を説明する。（E-4-1）-⑤） 4）構成咬合採得を実施する。（E-4-1）-⑤） 5）作業模型を構成咬合器へ付着する。（E-4-1）-⑤）
6月16日	舘 晶彦	ユニット9：アクチバートル（2）	1）アクチバートルの外形を設定する。（E-4-1）-⑤） 2）目的に応じた誘導線を屈曲する。（E-4-1）-⑤）
6月23日	舘 晶彦	ユニット10：アクチバートル（3）	1）目的に応じた誘導線を屈曲する。（E-4-1）-⑤） 2）レジン床の築盛方法を説明する（E-4-1）-⑤） 3）ボクシングを実施する。（E-4-1）-⑤） 4）ふりかけ法でレジン床の築盛を実施する。（E-4-1）-⑤）
6月30日	舘 晶彦	ユニット11：アクチバートル（4）	1）レジン床の研磨を行う（E-4-1）-⑤） 2）アクチバートルの誘導面形成を説明する。（E-4-1）-⑤）
7月7日	柴崎 絢香	ユニット12：保定装置（1）	1）保定装置の構造・目的・作製手順を説明する。（E-4-1）-⑤） 2）主線を屈曲する。（E-4-1）-⑤）
7月14日	柴崎 絢香	ユニット13：保定装置（2）	1）即時重合レジンを適切に操作する。（E-4-1）-⑤） 2）研磨を適切に行う。（E-4-1）-⑤）

本学期的学習目標 (GIO)

前年度に修得した歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断に関する知識をふまえて、歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる治療に関する知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
後藤滋巳 他 編	歯科矯正学	第7版	医歯薬出版
西井 康 他 著	歯科矯正学エッセンシャルテキスト	初 版	永末書店
新井一仁 他 著	歯科矯正学実習	初 版	医歯薬出版

担当者一覧

新井一仁, 土持 宇, 鈴木章弘, 栃木啓佑, 柴崎絢香, 舘 晶彦

学習方略

☒ 講義

☐ 示説 (デモンストレーション)

☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)

☐ 実習

☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [80%]

☒ 論述試験 [20%]

☐ 口頭試験 [--%]

☐ レポート [--%]

☐ ポートフォリオ [--%]

☐ シミュレーションテスト [--%]

☐ 実地試験 [--%]

☐ 観察記録 [--%]

☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]

☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週 月曜 17:00~18:00
場所: 100周年記念館 3階 歯科矯正学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	柴崎 絢香	ユニット1: 診 断	1) セファロ分析を実施する。(F-3-6)-④) 2) Tweed 分析における抜歯基準について説明する。(F-3-6)-④) 3) Tweed分析を実施する。(F-3-6)-④) 4) 治療方針を立案する。(F-3-6)-④)
4月14日	栃木 啓佑	ユニット2: 矯正力	1) 矯正治療の概要を説明する。(E-4-1)-①) 2) 矯正力の種類を列記する。(E-4-1)-③) 3) 矯正力の作用様式を列記する。(E-4-1)-③) 4) 歯の移動様式について説明する。(E-4-1)-③)
4月21日	土持 宇	ユニット3: 矯正歯科治療における固定	1) 固定の定義と意義を説明する。(E-4-1)-③) 2) 部位による固定の分類について説明する。(E-4-1)-③) 3) 固定を抵抗の性質によって分類する。(E-4-1)-③) 4) 抜歯空隙を利用するときの固定を分類する。(E-4-1)-③) 5) 歯科矯正用アンカースクリューによる固定について説明する。(E-4-1)-③)
5月12日	鈴木 章弘	ユニット4: 矯正用材料の特性	1) 矯正用材料の種類を列記する。(E-4-1)-④) 2) 矯正用材料の特徴を説明する。(E-4-1)-④) 3) 矯正用機器の種類を列記する。(E-4-1)-④) 4) 矯正用機器の用途を説明する。(E-4-1)-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	栃木 啓佑	ユニット5：矯正装置①	1) 矯正装置を分類する。(E-4-1)-⑤) 2) リンガルアーチ，パラタルアーチ，Nance のホールディングアーチ，およびタングクリブの特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) マルチブラケット装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-⑤) 4) 拡大装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-⑤) 5) 顎外固定装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-⑤)
5月26日	舘 晶彦	ユニット6：矯正装置②	1) 床矯正装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-⑤) 2) 機能的矯正装置の種類を列記する。(E-4-1)-⑤) 3) 機能的矯正装置の特徴を説明する。(E-4-1)-⑤) 4) 機能的矯正装置の適応症を説明する。(E-4-1)-⑤)
6月2日	新井 一仁	ユニット7：乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療	1) 乳歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-③) 2) 混合歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-③) 3) 混合歯列期における治療について説明する。(E-4-1)-③) 4) セファロの重ね合わせについて説明する。(E-4-1)-③)
6月9日	舘 晶彦	ユニット8：永久歯列期の矯正歯科治療	1) 永久歯列期における治療の目的を述べる。(E-4-1)-③) 2) 永久歯列期における治療について説明する。(E-4-1)-③) 3) Tweed分析と抜歯基準について説明する。(E-4-1)-③) 4) マルチブラケット装置の概要を説明する。(E-4-1)-③)
6月16日	柴崎 絢香	ユニット9：保定，口腔筋機能療法	1) 保定の定義と意義について述べる。(E-4-1)-③) 2) 後戻りと再発の原因について説明する。(E-4-1)-③) 3) 保定の種類を説明する。(E-4-1)-③) 4) 口腔筋機能療法について説明する。(E-4-1)-③)
6月23日	土持 宇	ユニット10：チーム医療の中の矯正歯科治療	1) 口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-②) 2) 顎変形症の矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-③) 3) 歯の先天性欠如と矯正歯科治療について説明する。(E-2-4)-(1)-①)
6月30日	鈴木 章弘	ユニット11：矯正歯科治療における口腔衛生管理，リスクと偶発症	1) 矯正歯科治療中の口腔衛生管理について説明する。(E-4-1) 2) 矯正歯科治療に伴うリスクと偶発症について説明する。(E-4-1)
7月7日	柴崎 絢香	ユニット12：診断学演習	1) 不正咬合について説明する。(F-3-6)-④) 2) 検査について説明する。(F-3-6)-④) 3) 診断について説明する。(F-3-6)-④)
7月14日	柴崎 絢香	ユニット13：治療学演習	1) 矯正歯科治療について説明する。(E-4-1)-①) 2) 固定について説明する。(E-4-1)-③) 3) 矯正用材料の特性について説明する。(E-4-1)-④) 4) 矯正装置について説明する。(E-4-1)-⑤)

口腔内科学（有病者歯科学を含む） 月曜日 14：50～16：20

本学期的学習目標（GIO）

有病者歯科学においては、歯科と関連する全身疾患と有病者に対する歯科医療を知り、臨床における診断力と対応を身につける。口腔内科学においては、口腔疾患患者の診察、治療総論、臨床検査、生体機能検査を学び、口腔顎顔面に症状を現す症候群、心因性病態および医療安全と感染予防対策について理解し、臨床における診断力と対応を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
日本有病者歯科医療学会 編	有病者歯科学	第2版	永末書店
山根源之、草間幹夫 編集主幹	口腔内科学	第3版	永末書店
日本歯科薬物療法学会 編	日本歯科用医薬品集 歯科の処方に役立つ本	第5版	永末書店

担当者一覧

石垣佳希, 松野智宣, 田中淳平, 小柳昌央, 稲田 諒, 戸谷収二

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☐ 実習
 ☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [70%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）[減点式]
 ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：毎週月曜日 16：30～17：00

場所：1000周年記念館5階 口腔外科学講座 *あるいは講義終了後の担当者からの指示

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月7日	石垣 佳希	ユニット1：有病者歯科学総論	1) 有病者の歯科医療の概念を説明する。(E-6) 2) 超高齢化社会における歯科医療のあり方を説明する。(A-7-1)-③) 3) 有病者歯科医療と医療連携・多職種協働について説明する。(A-5-1)-③) 4) 地域連携クリニカルパスを説明する。(A-5-1)
4月14日	石垣 佳希	ユニット2：有病者歯科学各論（循環器疾患）	1) 循環器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6)
4月21日	石垣 佳希	ユニット3：有病者歯科学各論（脳血管疾患、神経・運動器疾患）	1) 脳血管疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 2) 神経・運動器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6)
5月12日	石垣 佳希	ユニット4：有病者歯科学各論（呼吸器疾患、代謝性疾患、内分泌疾患）	1) 呼吸器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 2) 代謝性疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6) 3) 内分泌疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。(E-6)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	石垣 佳希	ユニット5：有病者歯科学各論（腎・泌尿器・生殖器疾患，肝疾患，血液・造血器疾患，免疫疾患）	1) 腎・泌尿器・生殖器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。（E-6） 2) 肝疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。（E-6） 3) 血液・造血器疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。（E-6） 4) 免疫疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。（E-6）
5月26日	石垣 佳希	ユニット6：有病者歯科学各論（精神・心身医学疾患，患者管理）	1) 精神・心身医学疾患と歯科治療上必要な対応を説明する。（E-6） 2) 患者管理上問題となる薬剤服用患者への対応を説明する。（E-6） 3) 周術期・終末期がん患者の口腔管理について説明する（E-6） 4) 緩和ケアについて説明する。（A-5-1）-⑦）
6月2日	松野 智宣	ユニット7：薬物療法と理学療法	1) 薬物療法の目的を説明する。（C-6-2） 2) 薬物療法の種類とその選択を述べる。（C-6-2） 3) 抗菌薬の効果を説明する。（C-6-2） 4) 抗菌薬の副作用と相互作用を説明する。（C-6-4） 5) 薬剤耐性（AMR）を説明する。（C-6-4） 6) 理学療法を列記する。（C-6-4）
6月9日	田中 淳平	ユニット8：臨床検査	1) 一般臨床検査を列挙する。（E-1-3）-①～⑤） 2) 血液学検査を説明する。（E-1-3）-①～⑤） 3) 生化学検査を説明する。（E-1-3）-①～⑤） 4) 免疫血清学検査を説明する。（E-1-3）-①～⑤）
6月16日	田中 淳平	ユニット9：顎口腔機能検査	1) 一般的な生体機能検査を列挙する。（E-1-3）-①～⑤） 2) 唾液および唾液腺検査を説明する。（E-1-3）-①～⑤） 3) 皮膚検査を説明する。（E-1-3）-①～⑤） 4) 味覚検査を説明する。（E-1-3）-①～⑤）
6月23日	小柳 昌央	ユニット10：口腔顎顔面に症状を現す症候群	1) 顎骨の異常を伴う症候群の種類と特徴を説明する。（E-2-4）-①） 2) 顔面軟組織の異常を伴う症候群の種類と特徴を説明する。（E-2-4）-①）
6月30日	松野 智宣	ユニット11：心因性病態	1) 心身相関を説明する。（E-5-3）-①） 2) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性疼痛を説明する。（E-5-3）-②） 3) 舌痛症を説明する。（E-5-3）-4） 4) 歯科治療恐怖症を説明する。（E-5-3）-⑤） 5) 心理テストの種類を説明する。（E-5-3）-③） 6) 心身医学的治療を説明する。（E-5-3）-①）
7月7日	戸谷 収二	ユニット12：医療安全と感染予防対策	1) 医療安全の必要性を述べる。（A-6-1）-④⑤） 2) 消毒と滅菌を説明する。（E-1-5）-⑥⑦⑧） 3) スタンダードプリコーションを説明する。（E-1-5）-⑥⑦⑧） 4) 感染症患者の歯科治療を説明する。（E-1-5）-⑥⑦⑧）
7月14日	石垣 佳希	ユニット13：問題演習および解説	1) 客観問題で正答を選択する。 2) 問題解説で理解度を知り，問題解決に必要な知識を習得する。 3) 記述式問題の解答を説明する。

歯科硬組織修復学

火曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

硬組織疾患に対する直接・間接修復法を理解するために、応用する器材の種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得し、あわせて変色歯・破折歯・象牙質知覚過敏への対応を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
田上順次 他	保存修復学21	第6版	永末書店

担当者一覧

柵木寿男, 前野雅彦, 河本 芽, 中村昇司, 原 学, 小川信太郎

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [80%] ☐ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎月 第1・第3火曜日 12:00~13:00
 場所: 100周年記念館 6階 接着歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	柵木 寿男	ユニット1: 鑄造修復の特徴/鑄造用金属の種類と組成	1) 鑄造修復の長所と短所を列記する。(E-3-3-(1)-①) 2) 適応症を記述する。(E-3-3-(1)-③) 3) 直接法と間接法を述べる。(E-3-3-(1)-①) 4) 鑄造用合金の所要性質を説明する。(D-2-②) 5) 各種鑄造用合金の組成や特徴を列挙する。(D-2-②)
4月15日	河本 芽	ユニット2: 鑄造修復用窩洞	1) 鑄造修復用窩洞の窩洞外形・保持形態・抵抗形態・便宜形態・窩縁形態を説明する。(E-3-3-(1)-⑥) 2) 各種窩洞の特徴・形態・形成法を述べる。(E-3-3-(1)-⑥)
4月22日	柵木 寿男	ユニット3: 印象と模型の作製	1) 各種印象材の長所と短所を列記する。(D-1-①) 2) 各種印象材の所要性質を記述する。(D-1-①) 3) 作業用模型の種類と特徴を述べる。(D-1-①) 4) 作業用模型の作製方法を説明する。(D-1-①)
5月13日	前野 雅彦	ユニット4: ワックスパターンの調整法/埋没	1) ワックスパターンの調整法を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) インレーワックスの所要性質を列記する。(D-1-①) 3) インレーワックスの組成を述べる。(D-1-①) 4) 埋没前準備を説明する。(D-2-②) 5) 埋没法の関連事項を列挙する。(D-2-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月20日	小川信太郎	ユニット5：鋳造法	1) 鋳造加熱の目的を記述する。(D-2-②) 2) 鋳造法について説明する。(D-2-②) 3) 鋳造収縮とその補償法を記述する。(D-2-②) 4) 鋳造後の処置を述べる。(D-2-②) 5) 鋳造欠陥の成因と対策を列記する。(D-2-②) 6) 鋳造体の熱処理・仕上げ研磨法を説明する。(D-2-②) 7) 鋳造体の合着法を述べる。(D-2-③)
5月27日	前野 雅彦	ユニット6：セラミックインレー修復	1) セラミックインレー修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復法における窩洞の特徴を述べる。(E-3-3-(1)-⑥) 3) 本修復法の適応症・禁忌症・種類と材料組成を説明する。(E-3-3-(1)-③) 4) 本インレーの種類を製作法により分類する。(D-2-②) 5) 作製法の違いによる利点・欠点を述べる。(D-2-②) 6) 本インレーによる修復手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
6月3日	中村 昇司	ユニット7：最新の歯科審美修復臨床	1) 審美修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 審美修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 3) 本修復法の種類を類別する。(E-3-3-(1)-①) 4) 代表的な審美修復法の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
6月10日	柵木 寿男	ユニット8：ベニア修復	1) ベニア修復の特徴を説明する。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復法の適応症・禁忌症を列記する。(E-3-3-(1)-③) 3) 本修復法の種類を類別する。(E-3-3-(1)-①) 4) 各種ベニア修復法の長所・短所を述べる。(E-3-3-(1)-①) 5) ベニア修復の手順を説明する。(E-3-3-(1)-①)
6月17日	前野 雅彦	ユニット9：問題演習および解説	1) セラミックインレー修復の特徴・窩洞・適応症を述べる。(E-3-3-(1)-①) 2) 本修復法の種類および材料の組成・修復手順を説明する。(D-2-②) 3) ベニア修復の特徴・適応症・種類・修復手順を述べる。(E-3-3-(1)-①)
6月24日	河本 芽	ユニット10：合着と接着	1) 合着と接着の違いを述べる。(D-2-③) 2) 合着用セメントの種類を列記する。(D-2-③) 3) 各セメントの組成を説明する。(D-2-③) 4) 接着性レジンセメントの分類を列記する。(D-2-③) 5) 各セメントの特徴を説明する。(D-2-③) 6) 臨床的使用手順・注意点を述べる。(D-2-③)
7月1日	柵木 寿男	ユニット11：変色歯の漂白	1) 歯の変色の原因を列記する。(E-3-2)-①) 2) 漂白法を類別する。(E-3-3-(1)-①) 3) 各漂白の適応症・禁忌症を述べる。(E-3-3-(1)-③) 4) 各種漂白法の処置手順を説明する。(E-3-3-(1)-①) 5) 漂白用薬剤の種類と漂白のメカニズム・作用を列記する。(D-1-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
7 月 8 日	原 学	ユニット12：破折歯・象牙質知覚過敏の処置	1) 歯の破折の原因を説明する。 (E-2-4)-(2)-(3)) 2) 前歯部の破折の処置法について述べる。 (E-2-4)-(2)-(3)) 3) 臼歯部の破折に処置法について述べる。 (E-2-4)-(2)-(3)) 4) 象牙質知覚過敏症の処置方針を述べる。 (E-3-3-(1)-(1)) 5) 象牙質知覚過敏症に用いる薬剤を列記する。 (D-1-(1))
7 月 15 日	柵木 寿男	ユニット13：問題演習および解説	1) 鑄造修復を述べる。(E-3-3-(1)-(1)) 2) セラミックインレー修復を説明する。 (E-3-3-(1)-(1)) 3) ベニア修復を述べる。(E-3-3-(1)-(1)) 4) 合着・接着用セメントの特徴を列記する。 (D-2-(3)) 5) 変色・破折・知覚過敏への処置を説明する。 (E-3-3-(1)-(1))

歯内療法学

火曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

勝海一郎，興地隆史，石井信之，中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史，石井信之，北村知昭，林 美加子 編集主幹	エンドドンティクス	第6版	永末書店
中原 泉，藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

担当者一覧

前田宗宏，西田太郎，関谷美貴，三枝慶祐，興地隆史

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL，TBLを含む）
 ☐ 実習
 ☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [60%]
 ☒ 論述試験 [40%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）[減点式]
 ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：毎週火曜日 12:10~13:10

場所：100周年記念館4階 歯科保存学講座

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
4月8日	関谷 美貴	ユニット1：齶蝕の治療	1) 象牙質歯髄複合体の概念を説明する。(E-3-1-①) 2) 歯の切削による歯髄や象牙質への影響を説明する。(E-3-3-(1)-②) 3) 切削時の歯髄刺激の軽減法を説明する。(E-3-3-(1)-④) 4) 切削後の歯髄保護法を説明する。(E-3-3-(1)-⑤) 5) 象牙質切削時の除痛法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 6) 罹患歯質の鑑別と除去法を説明する。(E-3-3-(2)-①)
4月15日	西田 太郎	ユニット2：歯内療法における治療方針，無菌的処置，仮封処置	1) 歯内療法における治療方針・計画の立案を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 施術野の消毒法の種類，方法を説明する。(E-1-5)-⑥) 3) ラバーダム防湿法の意義，方法を説明する。(A-6-3)-②) 4) バリヤーテクニックを説明する。(A-6-3)-②) 5) 歯内療法用器材の滅菌消毒法を説明する。(E-1-5)-⑧) 6) 仮封の意義と目的を説明する。(E-3-3-(1)-⑦) 7) 仮封法の種類を列記する。(E-3-3-(1)-⑦) 8) 仮封法の術式を説明する。(E-3-3-(1)-⑦)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月22日	三枝 慶祐	ユニット3：歯髄疾患の治療	1) 歯髄疾患治療の意義と目的について説明する。 (E-3-3-(2)-①) 2) 歯髄疾患治療法の種類を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 3) 歯髄疾患治療の適応症と禁忌症を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 4) 歯髄疾患治療時に必要な麻酔法を説明する。 (E-3-3-(2)-①)
5月13日	興地 隆史	ユニット4：歯髄・根尖歯周組織の炎症・免疫・治癒	1) 歯髄の炎症を説明する。(C-5-5)-①) 2) 歯髄の免疫学的反応を説明する。(C-4-2)-④) 3) 治療による歯髄の治癒過程を説明する。 (E-3-3-(2)-④) 4) 根尖歯周組織の炎症を説明する。(C-5-5)-①) 5) 根尖歯周組織の免疫学的反応を説明する。 (C-4-2)-④) 6) 治療による根尖歯周組織の治癒過程を説明する。 (E-3-3-(2)-④)
5月20日	三枝 慶祐	ユニット5：歯髄保存療法	1) 歯髄保存療法の目的、意義について説明する。 (E-3-3-(1)-⑤) 2) 歯髄鎮痛消炎療法の適応症と術式、治癒機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤) 3) 間接覆髄法の適応症と術式、治癒機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤) 4) 直接覆髄法の適応症と術式、治癒機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤) 5) 暫間的間接覆髄法の適応症と術式、治癒機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-⑤)
5月27日	西田 太郎	ユニット6：断髄法	1) 歯髄除去療法の目的、意義について説明する。 (E-3-3-(2)-①) 2) 生活断髄法の目的、意義について説明する。 (E-3-3-(2)-①) 3) 生活断髄法の適応症と術式、治癒機転、予後を説明する。(E-3-3-(1)-④)
6月3日	前田 宗宏	ユニット7：抜髄法 (1)	1) 抜髄法の目的、意義について説明する。 (E-3-3-(2)-①) 2) 麻酔抜髄法について説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 抜髄に使用する器材を列挙し、説明する。 (D-1-③)
6月10日	前田 宗宏	ユニット8：抜髄法 (2)	1) 髄室の開拓法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 根管口の明示について説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 根管長測定法の種類、特徴、方法を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 4) 歯髄の除去法を説明する。(E-3-3-(2)-①)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6月17日	前田 宗宏	ユニット9：抜髄法（3）	1）根管の拡大形成の目的と意義を説明する。 （E-3-3-(2)-①） 2）根管の機械的な拡大形成法について説明する。 （E-3-3-(2)-①） 3）根管の化学的な清掃拡大法について説明する。 （E-3-3-(2)-①） 4）根管の洗浄と乾燥法について説明する。 （E-3-3-(2)-①）
6月24日	前田 宗宏	ユニット10：抜髄法（4）	1）根管消毒の目的と意義を説明する。 （E-3-3-(2)-①） 2）根管消毒薬の種類を分類し列挙する。（D-2-⑥） 3）根管貼薬法を説明する。（E-3-3-(2)-①） 4）歯内療法における仮封の意義と目的を説明する。 （E-3-3-(1)-⑦） 5）仮封材の種類を列挙し仮封法を説明する。 （E-3-3-(1)-⑦） 6）抜髄後の創傷の治癒機転を説明する。 （E-3-3-(1)-④） 7）抜髄の終末処置となる根管充填について理解する。 （E-3-3-(2)-②） 8）根管充填の基本的術式の概要を説明する。 （E-3-3-(2)-②）
7月1日	関谷 美貴	ユニット11：Ni-Tiロータリーファイル	1）Ni-Tiロータリーファイルの開発における歴史的経緯を説明する。（E-3-3-(2)-①） 2）Ni-Tiロータリーファイルの機械的特性を説明する。（E-3-3-(2)-①） 3）Ni-Tiロータリーファイルの形状を説明する。（E-3-3-(2)-①） 4）Ni-Tiロータリーファイルによる根管形成の術式を説明する。（E-3-3-(2)-①）
7月8日	前田 宗宏	ユニット12：感染根管治療	1）感染根管治療の意義と目的を説明する。 （E-3-3-(2)-①） 2）感染根管治療の適応症と禁忌症を説明する。 （E-3-3-(2)-①） 3）感染根管治療用器材について説明する。 （D-1-③） 4）感染根管治療の術式について説明する。 （E-3-3-(2)-①） 5）根管内容物の検査法について説明する。 （E-3-3-(2)-①） 6）感染根管治療時の仮封について説明する。 （E-3-3-(1)-⑦） 7）感染根管治療の補助療法について説明する。 （E-3-3-(2)-①） 8）再根管治療の選択基準を列記する。 （E-3-3-(2)-①） 9）歯冠修復物・補綴装置の除去法を説明する。 （E-3-3-(2)-①）

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
7 月 15 日	前田 宗宏	ユニット13：根尖性歯周疾患－治療	1) 根尖性歯周疾患の診査・診断法を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 2) 根尖性歯周疾患への対症療法，原因除去療法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 急性単純性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 4) 急性化膿性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 5) 急性根尖性歯周炎の緊急処置法を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 6) 慢性単純性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 7) 慢性化膿性根尖性歯周炎の治療方針と治療法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 8) 慢性根尖性歯周炎の急性発作を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 9) 歯根肉芽腫の治療方針と治療法を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 10) 歯根嚢胞の治療方針と治療法を説明する。 (E-3-3-(2)-①) 11) 硬化性骨炎の治療方針を説明する。 (E-3-3-(2)-①)

歯内療法学実習

火曜日 13:10～16:20

本学期的学習目標（GIO）

歯内療法学を臨床で実践するために、各種の治療法を実施し、臨床における実際の診療ポジションや治療の術式、手順を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

勝海一郎，都築民幸，五十嵐 勝 他	歯内療法学実習書	改訂第10刷	日本歯科大学
勝海一郎，興地隆史，石井信之，中田和彦 編	歯内治療学	第5版	医歯薬出版
興地隆史，石井信之，北村知昭， 林 美加子 編集主幹	エンドドンティクス	第6版	永末書店
中原 泉，藤井一維 編集代表	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版

担当者一覧

前田宗宏，西田太郎，関谷美貴，三枝慶祐，村山文康，北村和夫，佐藤友則，濱田康弘，小柳圭史，小林 鷹，中山竣太郎，古田賢太郎，秋知美穂，石川 泰，磯田浩太，興地麗子，小倉陽子，梶原瑞貴，草間博文，小玉裕樹，杉田浩一，関口晃弘，高橋千明，立浪秀幸，辻野貴史，角掛 愛，永井圭子，永島万理子，前田朋己，松島正和，森山 旭，山崎孝子，吉野真弘

学習方略

☒ 講義 ☒ 示説（デモンストレーション） ☐ グループワーク（PBL，TBLを含む） ☒ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☐ 客観試験 [--%] ☐ 論述試験 [--%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☒ 実地試験 [10%] ☒ 観察記録 [90%]
☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）[減点式] ☐ その他（ ）

オフィスアワー

日時：実習終了後 16:20～17:20
 場所：本館7階 臨床実習室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月8日	前田 宗宏 関谷 美貴	ユニット1：実習ガイダンス，ラバーダム防湿法，歯髄の鎮静消炎療法，ブローチ綿花の製作	1) 歯内療法学の実習指針を説明する。(F-3-3)-③) 2) フェントムに装着した顎模型に対しラバーダム防湿法を実施する。(F-3-1)-③) 3) 患歯と施術野の孤立，消毒を適切に実施する。(F-3-1)-③) 4) 軟化象牙質の除去を実施する。(F-3-3)-③) 5) 歯髄鎮静消炎剤の貼付と仮封を実施する。(F-3-3)-③) 6) ブローチ綿花を製作する。(F-3-3)-③)
4月15日	北村 和夫	ユニット2：透明根管模型による直線根管の拡大形成と根管充填および彎曲根管の拡大形成	1) 根管口拡大の意義を述べる。(E-3-3-(2)-①) 2) リーマーやファイルなどの基本的な操作を実施する。(F-3-3)-③) 3) 直線根管の拡大形成法である規格形成法を実施する。(F-3-3)-③) 4) 不適切な拡大形成形態を説明する。(E-3-3-(2)-①) 5) 側方加圧充填法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 6) 彎曲根管の拡大形成法であるステップバック形成法を実施する。(F-3-3)-③) 7) 彎曲根管模型の側方加圧充填法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月22日	西田 太郎	ユニット3：小臼歯部人工歯植立模型に対する抜髄と根管充填	1) 髄室開拡，根管口明示を実施する。(F-3-3)-③) 2) 根管長測定法を実施する。(F-2-2)-⑦) 3) 根管拡大形成法を実施する。(F-3-3)-③) 4) 側方加圧根管充填法により根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 5) スプレッダーの使用法を熟練する。(F-3-3)-③)
5月13日	三枝 慶祐	ユニット4：下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック（彎曲根管）上での電氣的根管長測定器による作業長決定と拡大形成	1) 下顎小臼歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③) 2) 根管口明示を実施する。(F-3-3)-③) 3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 4) 彎曲根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 5) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)
5月20日	前田 宗宏	ユニット5：顎模型下顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（髄室開拡から抜髄，仮封まで）	1) 下顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2) 下顎第1大臼歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③) 3) エックス線により下顎大臼歯3根管歯の作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑤) 4) 下顎大臼歯3根管歯の抜髄を実施する。(F-3-3)-③) 5) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 6) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)
5月27日	前田 宗宏	ユニット6：顎模型下顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管の拡大形成から仮封まで）	1) 下顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3) 下顎大臼歯3根管歯の根管拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 4) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)
6月3日	前田 宗宏	ユニット7：顎模型下顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管充填）	1) 下顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を熟練する。(F-3-3)-③) 2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3) 側方加圧充填法により下顎大臼歯3根管歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 4) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)
6月10日	西田 太郎	ユニット8：顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（髄室開拡から抜髄，拡大形成，仮封まで）	1) 上顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を実施する。(F-3-3)-③) 2) 上顎第1大臼歯の髄室開拡を実施する。(F-3-3)-③) 3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 4) エックス線により上顎大臼歯3根管歯の作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑤) 5) 上顎大臼歯3根管歯の抜髄を実施する。(F-3-3)-③) 6) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)
6月17日	西田 太郎	ユニット9：顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管の拡大形成から仮封まで）	1) 上顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を熟練する。(F-3-3)-③) 2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3) 上顎大臼歯3根管歯の根管拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 4) 根管貼薬，二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6 月 24 日	西田 太郎	ユニット10：顎模型上顎左側第1大臼歯の抜髄と根管充填（根管充填）	1) 上顎左側第1大臼歯の診療ポジションで治療術式を熟練する。(F-3-3)-③) 2) 超音波チップを併用した根管洗浄を実施する。(F-3-3)-③) 3) 側方加圧充填法により上顎大臼歯3根管歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 4) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)
7 月 1 日	三枝 慶祐	ユニット11：顎模型上顎右側中切歯の抜髄即時根管充填	1) 上顎右側中切歯の診療ポジション，治療術式に熟練する。(F-3-3)-③) 2) 上顎右側中切歯の髄室開拓を実施する。(F-3-3)-③) 3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 4) 抜髄，根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 5) 側方加圧充填法により上顎右側中切歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 6) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)
7 月 8 日	関谷 美貴	ユニット12：下顎小臼歯歯冠付き透明ブロック（彎曲根管）のNi-Tiロータリーファイルを用いた拡大形成と根管充填	1) 下顎小臼歯の髄室開拓を実施する。(F-3-3)-③) 2) 根管口明示を実施する。(F-3-3)-③) 3) 電氣的根管長測定器による作業長測定を実施する。(F-2-2)-⑦) 4) Ni-Ti ロータリーファイルの操作法を説明する。(E-3-3)-(2)-②) 5) Ni-Ti ロータリーファイルによる彎曲根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 6) シングルポイント法による根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 7) 側方加圧充填法とシングルポイント法の根管充填法の違いを比べる。(E-3-3)-(2)-②) 8) 二重仮封を実施する。(F-3-3)-③)
7 月 15 日	西田 太郎	ユニット13：顎模型下顎右側第1小臼歯の抜髄と根管充填（実習試験）	1) 下顎右側第1小臼歯の診療ポジション，治療術式に熟練する。(F-3-3)-③) 2) 下顎第1小臼歯の髄室開拓を実施する。(F-3-3)-③) 3) 抜髄，根管の拡大形成を実施する。(F-3-3)-③) 4) 側方加圧充填法により下顎小臼歯の根管充填を実施する。(F-3-3)-③) 5) エックス線により根管充填の良否を判断する。(F-2-2)-⑤)

小児歯科学実習

水曜日 9:00~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

小児の歯科的諸問題に対応するために、患児の一口腔単位の診察、診断、治療計画に基づいた治療と口腔管理の実際を理解し、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
前田隆秀 他編	小児歯科学基礎・臨床実習	第3版	医歯薬出版
白川哲夫 他編	小児歯科学	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

荻部洋行, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 萩原洋子, 米山博己, 石井伸明, 酒寄浩章, 鈴木淳子, 小口莉代, 内川喜盛, 白瀬敏臣, 梅津糸由子, 村松健司, 新見嘉邦, 亀岡 亮, 山口みなみ, 西村 歩, 出口 崇, 杉澤香恵子, 宇佐見智里, 伊藤春子, 河野 南, 千 瑛美, 合場奈美, 萩原栄和, 黒田暁洋, 林 陽佳, 増田理紗, 三宅真帆, 波多野宏美, 松崎祐樹, 三井園子, 宮山友紀, 松本紗耶, 山崎てるみ, 松尾恭子

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [30%] ☐ 論述試験 [--%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☒ 観察記録 [70%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 木曜日 12:00~13:00
 場所: 100周年記念館 3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	河上 智美	ユニット1: 下顎第一乳臼歯の観察および立体構築	1) 下顎第一乳臼歯の展開図を作成する。(E-3-1)-②) 2) 下顎第一乳臼歯の名称を列記する。(E-3-1)-②) 3) ワックス棒を用いて, 下顎第一乳臼歯を造形する。(E-3-1)-②)
4月16日	名生 幸恵 田中 聖至	ユニット2: 小児歯科実習の基礎	1) 適切な身だしなみ, 言葉づかいおよび態度を実施できる。(F-2-1)-①) 2) 適切な診療姿勢が実施できる。(F-1-2)-②③) 3) 歯科用器具器材の準備, 片付けができる。(F-3-1) 4) 歯科用器具を安全に操作できる。(F-1-2)-①) 5) 清潔に配慮した操作ができる。(F-1-2)-②) 6) ラバーダム防湿ができる。(F-3-1)-③)
4月23日	荻部 洋行	ユニット3: 小児患者の医療面接・診察	1) 小児患者の医療面接に必要な質問事項を述べる。(F-2-1)-③) 2) 医療面接で得た情報を診療録に記載する。(F-2-1)-④) 3) 口腔内状態を診察する。(F-1-1)-①) 4) 口腔内状態を診療録に記載する。(F-1-1)-④) 5) 医療者としての適切な態度を説明する。(F-2-1)-②⑦)
5月7日	名生 幸恵	ユニット4: 予防填塞	1) 予防填塞の齶蝕予防機序を説明する。(E-4-2)-①) 2) 予防填塞の種類を述べる。(E-4-2)-①) 3) 予防填塞に必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-②) 4) 予防填塞を実施する。(F-3-6)-②)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月14日	岡本亜祐子	ユニット5：乳臼歯のコンポジットレジン修復	1) ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③) 2) 適切な窩洞形成を実施する。(F-3-3)-①) 3) 隣接面窩洞修復の隔壁を装着する。(F-3-3)-①) 4) 接着システムによる歯面処理を実施する。(F-3-3)-①) 5) コンポジットレジンの充填操作を実施する。(F-3-3)-①) 6) 形態修正と研磨を実施する。(F-3-3)-①)
5月21日	加藤 雄一	ユニット6：コンポジットレジン冠修復	1) コンポジットレジン冠修復の適応症を説明する。(E-4-2)-③) 2) コンポジットレジン冠の支台歯形成を実施する。(F-3-3)-①) 3) 適切なサイズのクラウンフォームを選択する。(F-3-3)-①) 4) クラウンフォームの調整を実施する。(F-3-3)-①) 5) コンポジットレジン冠の形態修正を実施する。(F-3-3)-①)
5月28日	岡本亜祐子	ユニット7：乳歯のコンポジットレジン修復まとめ	1) 隣接面齲蝕のある乳臼歯の歯冠修復を実施する。(F-3-3)-①) 2) 多歯面齲蝕のある乳前歯の歯冠修復を実施する。(F-3-3)-①)
6月4日	河上 智美	ユニット8：生活歯髄切断法	1) 乳歯の生活歯髄切断法の適応症を説明する。(E-4-2)-⑤) 2) 乳歯の解剖学的特徴を述べる。(E-3-1)-②) 3) ラバーダム法の目的を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 4) ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③) 5) 乳歯の生活歯髄切断法に使用する薬剤について説明する。(D-2)-⑥) 6) 乳歯の生活歯髄切断法を実施する。(F-3-3)-③)
6月11日	田中 聖至	ユニット9：乳歯用既製金属冠修復	1) 乳臼歯の解剖学的特徴を説明する。(E-3-1)-②) 2) 乳歯用既製金属冠の特徴を説明する。(E-4-2)-③) 3) 乳歯用既製金属冠の適応症を説明する。(E-4-2)-③) 4) 乳歯用既製金属冠の支台歯形成を実施する。(F-3-3)-①) 5) 乳歯用既製金属冠の調整を実施する。(F-3-3)-①)
6月18日	河上 智美	ユニット10：乳歯の歯髄処置と既製冠修復まとめ	1) ラバーダム法を実施する。(F-3-1)-③) 2) 乳歯の生活歯髄切断法を実施する。(F-3-3)-③) 3) 乳歯用既製金属冠修復を実施する。(F-3-3)-①)
6月25日	荻部 洋行 田中 聖至	ユニット11：混合歯列期の空隙分析／クラウンループ保険装置 (1)	1) 混合歯列空隙分析を実施する。(F-3-6)-④) 2) 分析の結果から治療計画書を作成する。(E-4-2)-⑨) 3) 保険装置の適応症を説明する。(E-4-2)-⑨) 4) 保護者に保険装置の必要性を説明する。(F-4-2)-⑧) 5) クラウンループ保険装置を設計する。(F-4-2)-⑧) 6) 保険装置装着時の注意点を述べる。(E-4-2)-⑨) 7) 保険装置装着後の留意点を説明する。(E-4-2)-⑨)
7月2日	加藤 雄一	ユニット12：クラウンループ保険装置 (2)	1) クラウンループ保険装置の外形線を記入する。(E-4-2)-⑨) 2) ワイヤーベンディングを実施する。(E-4-2)-⑨) 3) ループワイヤーをろう着する。(E-4-2)-⑨)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
7 月 9 日	名生 幸恵	ユニット13：小児のブラッシング指導／フッ化物歯面塗布	1) 小児の口腔内状況を保護者に説明する。 (B-3-2)-④) 2) 小児のブラッシング指導を実施する。(F-3-6)-③) 3) 保護者に仕上げ磨きを説明する。(B-3-2)-③) 4) フッ化物歯面塗布を説明する。(B-3-2)-①) 5) フッ化物歯面塗布の種類を述べる。(E-4-2)-①) 6) フッ化物歯面塗布に必要な器具・器材を準備する。 (F-3-1)-②) 7) フッ化物歯面塗布を実施する。(F-3-6)-①) 8) 小児と保護者に塗布後の注意を説明する。 (F-3-6)-①)

小児歯科学

水曜日 13:10～14:40

本学期的学習目標 (GIO)

成長発達の過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
白川哲夫 他編	小児歯科学	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

荻部洋行, 前田美穂, 小方清和, 河上智美, 田中聖至, 名生幸恵, 加藤雄一, 岡本亜祐子, 楊 秀慶, 荻原栄和

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 木曜日 12:00～13:00
 場所: 100周年記念館3階 小児歯科学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	名生 幸恵	ユニット1: 小児の齲蝕の予防 GIO: 小児期の齲蝕の発症と進行を予防するために、小児期の齲蝕の特徴と発症の危険因子を理解し対処法を修得する。	1) 齲蝕予防の基本的な考え方を説明する。 (B-3-2)-① 2) 齲蝕発症の危険因子への対処法を記述する。 (B-3-2)-①～② 3) 年齢に即した齲蝕の予防法を説明する。 (B-3-2)-④
4月16日	河上 智美	ユニット2: 小児の歯冠修復	1) 小児の歯冠修復の目的を説明する。(E-2-4)-③ 2) 歯冠修復時に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。(E-3-1)-② 3) 小児期に行う歯冠修復の種類を記述する。 (E-4-2)-③ 4) 発育段階に応じた乳歯と幼若永久歯の歯冠修復法を選択する。(E-3-1)-② 5) 小児の歯冠修復時に必要な局所麻酔法とラバーダム法を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤
4月23日	小方 清和	ユニット3: 心身障害児および全身疾患児への歯科的対応 (1)	1) 小児歯科治療時に留意すべき疾患の種類を記述する。(E-5-2)-① 2) 小児歯科治療時に留意すべき疾患の口腔所見を説明する。(E-5-2)-① 3) 歯科治療時に留意すべき疾患を有する小児への対応を説明する。(E-5-2)-②
5月7日	田中 聖至	ユニット4: 心身障害児および全身疾患児への歯科的対応 (2)	1) 小児の遺伝性疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-① 2) 遺伝性疾患のある小児の口腔内の特徴を記述する。(E-5-2)-③ 3) 遺伝性疾患のある小児への歯科的対応と診療時の注意事項を記述する。(E-5-2)-①
5月14日	前田 美穂	ユニット5: 心身障害児および全身疾患児への歯科的対応 (3)	1) 小児の血液疾患の特徴を説明する。(E-5-2)-① 2) 小児の神経・筋疾患の特徴を説明する。 (E-5-2)-① 3) 歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。(E-5-2)-③

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	河上 智美	ユニット6：心身障害児および全身疾患児への歯科的対応（4）	1）障害児の特徴を説明する。（E-5-2）-①） 2）障害児の歯科治療時に留意すべき対応のポイントを列挙する。（E-5-2）-③）
5月28日	加藤 雄一	ユニット7：小児の歯内療法	1）歯内療法に必要な乳歯と幼若永久歯の特徴を説明する。（E-3-1）-②） 2）乳歯歯髄疾患の診査法を記述する。（E-4-2）-④） 3）乳歯根尖性歯周炎の診査法を説明する。（E-4-2）-⑤） 4）乳歯と幼若永久歯に行う歯髄覆髄法，歯髄切断法，抜髄および感染根管治療の適応症と術式を記述する。（E-4-2）-⑤） 5）アペキソゲネーシスの機序を説明する。（E-4-2）-⑤） 6）アペキシフィケーションの機序を説明する。（E-4-2）-⑤）
6月4日	荻部 洋行	ユニット8：小児の咬合誘導（1）	1）保隙の目的を説明する。（E-4-2）-⑨） 2）保隙装置の種類と適応症を記述する。（E-4-2）-⑨） 3）保隙装置の調整と管理法を説明する。（E-4-2）-⑨） 4）口腔習癖の種類と対応法を記述する。（E-4-2）-⑩）
6月11日	荻部 洋行	ユニット9：小児の咬合誘導（2）	1）乳歯列期の不正咬合の種類を記述する。（E-4-2）-⑧） 2）乳歯列期の不正咬合の対応法を説明する。（E-4-2）-⑨） 3）混合歯列期の不正咬合の種類を記述する。（E-4-2）-⑨） 4）混合歯列期の不正咬合の対応法を説明する。（E-4-2）-⑨）
6月18日	岡本亜祐子	ユニット10：小児の歯の外傷（1）	1）小児の歯の外傷の特徴を列記する。（E-4-2）-⑦） 2）小児の歯の外傷の診療・検査を説明する。（E-4-2）-⑦） 3）乳歯・永久歯の外傷の治療方針を説明する。（E-4-2）-⑦） 4）小児の歯の外傷の予防について説明する。（E-4-2）-⑪）
6月25日	楊 秀慶	ユニット11：小児の歯の外傷（2）	1）乳歯・永久歯の外傷の処置を説明する。（E-4-2）-⑦） 2）乳歯の外傷が後継永久歯胚へ及ぼす影響を説明する。（E-4-2）-⑦） 3）小児の歯の外傷と小児虐待との関連を説明する。（E-4-2）-⑪）
7月2日	岡本亜祐子	ユニット12：外科的処置および顎関節症	1）局所麻酔と乳歯抜去時の偶発症を説明する。（E-1-4）-（3）-⑤） 2）乳歯抜去の適応症と禁忌症を説明する。（E-1-5）-①） 3）乳歯抜去の術式を説明する。（E-1-5）-③） 4）小児の薬理学的特性を記述する。（C-6-3）-②） 5）小児の顎関節症の疫学的特徴，臨床的特徴およびその管理について説明する。（E-2-4）-（7）-②）
7月9日	荻原 栄和	ユニット13：小児の臨床口腔管理と地域口腔保健	1）保護者と小児に対する保健指導を述べる。（B-3-2）-④） 2）乳幼児歯科健診の内容を説明する。（B-3-2）-④） 3）学校歯科健康診断の基本的方法を述べる。（B-3-2）-④） 4）思春期に配慮すべき健康問題を述べる。（B-3-2）-④）

歯科麻酔・救急処置

水曜日 14:50~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
古屋英毅 他	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
金子 譲 監修	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版

担当者一覧

砂田勝久, 塩谷伊毅, 大橋 誠, 筒井友花子, 小谷田貴之, 酒井有沙, 島村直宏

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (不正行為 [減点式])

オフィスアワー

日時: 水曜日 16:20~17:00
 場所: 100周年記念館 5階 歯科麻酔学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月9日	酒井 有沙	ユニット1: ペインコントロールの位置づけ, 歯科治療に必要な神経系の基礎	1) ペインコントロール法を述べる。(E-1-4)-(3)-①) 2) 神経系を分類する。(C-3-4)-(5)-①) 3) 痛覚伝導路を説明する。(C-3-4)-(5)-①) 4) 末梢神経の構造を述べる。(C-3-4)-(5)-⑦) 5) 末梢神経の興奮伝導を説明する。(C-3-4)-(5)-⑧)
4月16日	砂田 勝久	ユニット2: 局所麻酔 (1)	1) 局所麻酔の目的 (適応) を述べる。(E-1-4)-(3)-①) 2) 局所麻酔薬の構造, 分類, 作用機序を述べる。(E-1-4)-(3)-②) 3) 局所麻酔薬の作用に影響を与える因子を説明する。(E-1-4)-(3)-③) 4) 局所麻酔薬の全身的作用を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤)
4月23日	筒井友花子	ユニット3: 局所麻酔 (2)	1) 各種歯科用局所麻酔薬の特徴を述べる。(E-1-4)-(3)-②) 2) 表面麻酔薬を説明する。(E-1-4)-(3)-②) 3) 血管収縮薬添加の目的を述べる。(E-1-4)-(3)-④) 4) 血管収縮薬の種類と薬理作用を説明する。(E-1-4)-(3)-④) 5) 血管収縮薬添加局所麻酔薬の使用上の注意点問題を述べる。(E-1-4)-(3)-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月7日	筒井友花子	ユニット4：局所麻酔（3）	1）口腔内の痛点，骨小孔の分布を述べる。 (C-3-4)-(6)-(4)) 2）上顎神経，下顎神経の走行を述べる。 (C-3-4)-(5)-(1)) 3）局所麻酔に用いる器具を説明する。 (E-1-4)-(3)-(5)) 4）表面麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5)) 5）浸潤麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5)) 6）伝達麻酔法を説明する。(E-1-4)-(3)-(5)) 7）局所麻酔の局所的偶発症を列挙する。 (E-1-4)-(3)-(5)) 8）局所麻酔の局所的偶発症の予防法と対処法を説明する。 (E-1-4)-(3)-(5))
5月14日	塩谷 伊毅	ユニット5：局所麻酔の全身的偶発症（1）	1）歯科診療時の患者の全身状態を評価するためにバイタルサインを説明する。(E-1-4)-(1)-(1)) 2）血管迷走神経反射を説明する。(E-1-6)-(1)) 3）血管迷走神経反射の予防法と対処法を述べる。 (E-1-6)-(1)) 4）過換気症候群を説明する。(E-1-6)-(1)) 5）過換気症候群の予防法と対処法を述べる。 (E-1-6)-(1))
5月21日	塩谷 伊毅	ユニット6：局所麻酔の全身的偶発症（2）	1）局所麻酔薬中毒を説明する。(E-1-6)-(1)) 2）局所麻酔薬中毒の予防法と対処法を述べる。 (E-1-6)-(1)) 3）アナフィラキシーを説明する。(E-1-6)-(1)) 4）局所麻酔薬アレルギーとその対処法を述べる。 (E-1-6)-(1)) 5）薬物アレルギーテストを説明する。(E-1-3)-(2)) 6）メトヘモグロビン血症とその対処法を述べる。 (E-1-6)-(1))
5月28日	小谷田貴之	ユニット7：歯科診療時の患者評価と管理法（1）	1）高血圧患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 2）虚血性心疾患患者の全身管理を述べる。 (E-1-6)-(2)) 3）不整脈患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 4）心臓弁膜症患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 5）心不全患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2))
6月4日	小谷田貴之	ユニット8：歯科診療時の患者評価と管理法（2）	1）脳血管障害患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 2）抗血栓療法患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 3）向精神薬内服患者の全身管理を述べる。 (E-1-6)-(2)) 4）気管支喘息患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 5）慢性閉塞性肺疾患患者の全身管理を述べる。 (E-1-6)-(2))
6月11日	小谷田貴之	ユニット9：歯科診療時の患者評価と管理法（3）	1）糖尿病患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 2）甲状腺機能亢進症患者の全身管理を述べる。 (E-1-6)-(2)) 3）肥満患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 4）肝疾患患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 5）腎疾患患者の全身管理を述べる。(E-1-6)-(2)) 6）妊婦の管理上の注意点を述べる。(E-6-3)) 7）歯科治療時に問題となる常用薬を述べる。 (E-1-6)-(2))

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6 月 18 日	大橋 誠	ユニット10：心肺蘇生法	1) 救命の連鎖を説明する。(E-1-6)-(2) 2) 臨床的心停止を説明する。(E-1-6)-(2) 3) 胸骨圧迫を説明する。(E-1-6)-(2) 4) 気道確保法を説明する。(E-1-6)-(2) 5) 人工呼吸を説明する。(E-1-6)-(2) 6) 自動体外式除細動器の適応を説明する。 (E-1-6)-(2) 7) 二次救命処置を説明する。(E-1-6)-(2)
6 月 25 日	島村 直宏	ユニット11：救急処置と救急薬	1) 気道閉塞の症状を述べる。(E-1-6)-(2) 2) 基本的救急薬とその適応を述べる。(E-1-6)-(3) 3) ショックを説明する。(E-6-①)
7 月 2 日	塩谷 伊毅	ユニット12：精神鎮静法の概要と笑気吸入鎮静法	1) 精神鎮静法の定義を述べる。(E-1-4)-(2)-(①) 2) 鎮静法の適応と禁忌を述べる。(E-1-4)-(2)-(①) 3) 鎮静法を分類する。(E-1-4)-(2)-(①) 4) 笑気吸入鎮静法を説明する。(E-1-4)-(2)-(②) 5) 亜酸化窒素の特徴を述べる。(E-1-4)-(2)-(②) 6) 笑気吸入鎮静法の利点と欠点を述べる。 (E-1-4)-(2)-(②) 7) 笑気吸入鎮静法の適応と禁忌を述べる。 (E-1-4)-(2)-(②) 8) 笑気吸入鎮静法の周術期管理を述べる。 (E-1-4)-(2)-(④)
7 月 9 日	塩谷 伊毅	ユニット13：静脈内鎮静法	1) 静脈内鎮静法を説明する。(E-1-4)-(2)-(③) 2) 静脈内鎮静法に使用する薬物とその特徴を述べる。 (E-1-4)-(2)-(③) 3) 静脈内鎮静法の適応と禁忌を述べる。 (E-1-4)-(2)-(③) 4) 鎮静レベルの評価法を述べる。(E-1-4)-(2)-(④) 5) 静脈内鎮静法の周術期管理を述べる。 (E-1-4)-(2)-(④)

歯冠補綴学実習

木曜日 9:00~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

歯冠修復の基本的事項を確認するために、各種補綴装置の支台歯形成、印象採得、作業模型の製作、支台築造、プロビジョナルクラウンの製作を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
五味治徳, 八田みのり, 渡邊 慧 他	歯冠補綴学実習書	第7版	日本歯科大学

担当者一覧

五味治徳, 新谷明一, 八田みのり, 渡邊 慧, 黒田聡一, 藤島 伸, 岡田智雄, 石田鉄光, 横澤 茂, 大津光寛, 山瀬 勝, 我妻由梨, 石川結子, 小池未来, 丸茂義二, 大内秀明, 遠山佳之, 松尾 豊, 長田博史, 海渡智義, 濱 仁隆, 米澤弥生, 落合真美, 曾布川裕介, 磯 亮輔, 軍司さおり

学習方略

☐ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [20%] ☒ 論述試験 [10%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☒ 実地試験 [20%] ☒ 観察記録 [50%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 月~金の昼休み時間帯を原則とし、指導担当者の指示に従う。
場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	八田みのり	ユニット1: 全部金属冠の支台歯形成	1) 歯冠補綴学における修復法を分類する。(E-3-4)-(1)-(2)) 2) 咬合器の取り扱い方について説明する。(E-3-4)-(1)-(10)) 3) 辺縁形態の種類を述べる。(E-3-4)-(1)-(4)) 4) 支台歯の縮小形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 5) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 6) 下顎右側第一大臼歯の支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3))
4月17日	渡邊 慧	ユニット2: 全部金属冠の精密印象採得	1) 印象材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(5)) 2) 連合印象法を説明する。(E-3-4)-(1)-(5)) 3) 印象採得操作の注意点を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(5)) 4) シリコーン印象材を適切に操作する。(F-3-4)-(6)) 5) 精密印象採得を実施する。(F-3-4)-(6)) 6) 対合歯列の概形印象採得を実施する。(F-3-1)-(5)) 7) 歯型材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(9)) 8) 歯科用石膏の練和を実施する。(F-3-4)-(7)) 9) 採得した印象に石膏注入を実施する。(F-3-4)-(7))
4月24日	藤島 伸	ユニット3: 歯型可撤式模型の製作	1) 石膏模型のトリミングを実施する。(F-3-4)-(7)) 2) ダウエルピンの位置と役割を説明する。(E-3-4)-(1)-(9)) 3) 歯型の回転防止溝について説明する。(E-3-4)-(1)-(9))

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月8日	藤島 伸	ユニット4：咬合器装着・分割・トリミング	1) 作業用模型の咬合器装着の意義、術式を説明する。(E-3-4)-(1)-(10)) 2) 咬合採得を実施する。(F-3-4)-(8)) 3) 作業用模型の咬合器装着を実施する。(F-3-4)-(8)) 4) 歯型の分割を実施する。(F-3-4)-(7)) 5) 歯型のトリミングを実施する。(F-3-4)-(7))
5月15日	渡邊 慧	ユニット5：CAD/CAM冠の支台歯形成(1)	1) 上顎前歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-(3))
5月22日	海渡 智義	ユニット6：直接法による支台築造	1) 支台築造の意義・種類について説明する。(E-3-4)-(1)-(3)) 2) 上顎左側犬歯および下顎右側第一大臼歯の支台築造形成歯上でコンポジットレジンを用いて支台築造を実施する。(F-3-4)-(2)) 3) 支台築造の具備条件について列記する。(E-3-4)-(1)-(3)) 4) 適正なクリアランスで形成を実施する。(F-3-4)-(3))
5月29日	渡邊 慧	ユニット7：既製冠を用いたプロビジョナルクラウンの製作	1) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(7)) 2) 即時重合レジンを適切に操作する。(F-3-4)-(5)) 3) 既製冠を用いたプロビジョナルクラウンを製作する。(F-3-4)-(5))
6月5日	八田みのり	ユニット8：CAD/CAM冠の支台歯形成(2)	1) 下顎小臼歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-(3))
6月12日	渡邊 慧	ユニット9：直接法によるプロビジョナルクラウンの製作	1) プロビジョナルレストレーションの臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(7)) 2) 即時重合レジンを適切に操作する。(F-3-4)-(5)) 3) 直接法でプロビジョナルクラウンを製作する。(F-3-4)-(5))
6月19日	藤島 伸	ユニット10：前装冠の支台歯形成	1) 支台歯の形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-(3))
6月26日	八田みのり	ユニット11：支台歯形成・知識確認試験	1) 清潔域・不潔域に配慮しながら操作を行う。(F-3-4)-(3)) 2) 支台歯形成を時間制限のもと実施する。(F-3-4)-(3)) 3) 診療姿勢に注意しながら支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3))
7月3日	五味 治徳	ユニット12：ブリッジの支台歯形成(1)	1) 上顎前歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 4) 適切な支台歯間の平行性を確保しながら形成を実施する。(F-3-4)-(3))
7月10日	五味 治徳	ユニット13：ブリッジの支台歯形成(2)	1) 下顎臼歯の支台歯形態およびクリアランスを適正に支台歯形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 2) 適切なテーパーで形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 3) 適切な辺縁形態で形成を実施する。(F-3-4)-(3)) 4) 適切な支台歯間の平行性を確保しながら形成を実施する。(F-3-4)-(3))

全部床義歯補綴学実習

木曜日 13:10~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

無歯顎者の全部床義歯補綴に対応するため、製作の実際を修得し、あわせて臨床操作に必要な器具・材料、ならびに器械の基本的な正しい取り扱いを身につける。

教科書・参考書

著者・編集

志賀 博・歯科補綴学第1講座 編

書名

有床義歯補綴学実習書

版

第8版

出版社

日本歯科大学

担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 石田鉄光, 中島邦久, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山 洋, 児玉実穂, 岡山浩美, 小池未来, 川名弘剛, 渡邊慧子, 寺沼樹里, 山川茉莉萌, 安部結美, 亙理奈保子, 寺辺やよひ, 萩原 彰, 岩波行紀, 高草木 章, 仁村秀由喜, 小島健一郎, 芳賀景嗣, 塙 悦郎, 荒川一郎, 千切一恵, 田村響子, 倉持淳子, 齋藤眞子, 仁村可奈, 門田千晶

学習方略

☐ 講義 ☒ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [--%] ☐ 論述試験 [--%] ☒ 口頭試験 [40%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☒ 観察記録 [60%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 木曜日 16:20~17:00

場所: 7階 臨床基礎実習室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	上杉 華子	ユニット1: 概形印象採得・診断用模型の製作	1) アルジネート印象材の練和を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 診断用模型を製作する。(E-3-4)-(2)-(6))
4月17日	中島 邦久	ユニット2: 診断用模型上での診査・全部床義歯の設計・個人トレーの設計と製作	1) 診断用模型上での診査を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 全部床義歯の外形線を理解する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 個人トレーの外形線を理解する。(E-3-4)-(2)-(6)) 4) ブロックアウト, リリーフを実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 5) トレー製作のために常温重合レジン进行操作する。(E-3-4)-(2)-(6)) 6) 個人トレーの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
4月24日	小見野真梨恵	ユニット3: 上顎筋圧形成・精密印象採得・ボクシング	1) 上顎筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 上顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 上顎印象のボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
5月8日	横山 正起	ユニット4: 下顎筋圧形成・精密印象採得・ボクシング	1) 下顎筋圧形成を模倣する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 下顎精密印象を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 下顎印象のボクシングを実施する。(E-3-4)-(2)-(6))
5月15日	上杉 華子	ユニット5: 上下顎作業用模型製作・咬合床製作	1) 上下顎作業用模型の調整を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 上下顎基礎床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 上下顎咬合床の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(6))

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月22日	中島 邦久	ユニット6：仮想咬合平面決定・咬合採得（垂直的顎位決定）・フェイスボウトランスファー	1) 上顎咬合床の修正を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑥)) 2) 仮想咬合平面決定を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑥)) 3) 垂直的顎位の決定を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑥)) 4) フェイスボウトランスファーを実施する。(E-3-4)-(2)-(⑧))
5月29日	上杉 華子	ユニット7：咬合採得（水平的顎位決定）・咬合器の顎路調節・平均値による上下顎模型の咬合器付着	1) ゴシックアーチ描記法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑦)) 2) ゴシックアーチ描記板、描記針の装着を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑦)) 3) ゴシックアーチ描記法を模倣する。(E-3-4)-(2)-(⑦)) 4) ゴシックアーチ描記を用いたチェックバイト法を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑧)) 5) 咬合器の顎路調節法を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑧)) 6) 排列実習のための上下顎模型と咬合床を咬合器に付着する。(E-3-4)-(2)-(⑧))
6月5日	小見野真梨恵	ユニット8：上顎前歯部人工歯排列	1) 咬合堤唇面標示線の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑦)) 2) 前歯部人工歯の選択基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 3) 上顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪))
6月12日	横山 正起	ユニット9：下顎前歯部人工歯排列、前歯部咬合調整	1) 下顎前歯人工歯の排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 2) 前歯部咬合調整を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩))
6月19日	上杉 華子	ユニット10：下顎臼歯部人工歯排列	1) 臼歯部人工歯選択基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩)) 2) 下顎法による人工歯排列を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩)) 3) 咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩)) 4) 下顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪))
6月26日	中島 邦久	ユニット11：上顎臼歯部人工歯排列、咬合調整	1) 上顎臼歯人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 2) 臼歯部人工歯排列時に考慮すべき事項を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩)) 3) 咬合調整を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩))
7月3日	小見野真梨恵	ユニット12：歯肉形成・蠟義歯試適・埋没・重合・再付着・削合調整・研磨・完成義歯装着・義歯装着後の経過観察	1) 歯肉形成の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 2) 歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 3) 試適の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 4) 埋没・重合法を説明実施する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 5) 再付着・削合調整・研磨を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪)) 6) 義歯装着後の経過観察・リライン・義歯修理を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑭))
7月10日	横山 正起	ユニット13：口頭試問	1) 修得した知識を確認し、実習の修得度を評価する。

本学期的学習目標 (GIO)

これまでの知識に加え、歯・顎・顔面領域における特異的な疾患、放射線の人体への影響、がんの放射線治療など、臨床における様々な放射線の活用法を理解すると同時に、病院実習に向けて歯科放射線学の知識の確認を行うために、演習を通じて知識の総まとめを行う。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
岡野友宏 他 編	歯科放射線学	第7版	医歯薬出版
日本歯科放射線学会 編	歯科臨床における画像診断アトラス	第2版	医歯薬出版
S. Mallya & E. W. N. Lam	White & Pharoah's Oral Radiology	8th Ed.	Mosby
有地榮一郎 他 監修	わかりやすい歯科放射線学	第3版	学建書院

担当者一覧

河合泰輔, 浅海利恵子, 神尾 崇, 永浦まどか, 岩田 洋, 林 宗廣, 柿本直也, 飯久保正弘

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 金曜日, 12:10~13:00, 17:00~18:30

場所: 100周年記念館 3階 歯科放射線学講座 (この他の時間は必ずアポイントを取ること)

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	永浦まどか	ユニット1: 唾液腺疾患の画像診断	1) 唾液腺疾患の検査法を述べる。(E-2-4)-⑧) 2) 唾液腺疾患の分類を述べる。(E-2-4)-⑧) 3) 唾液腺疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-⑧)
4月11日	永浦まどか	ユニット2: 顎関節疾患の画像診断	1) 顎関節疾患の検査法を述べる。(E-2-4)-⑦) 2) 顎関節疾患の分類を述べる。(E-2-4)-⑦) 3) 顎関節疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-⑦)
4月18日	河合 泰輔	ユニット3: 上顎洞の画像診断	1) 上顎洞の検査法を述べる。 (E-1-2)-⑧, E-2-2)-⑦) 2) 上顎洞にみられる疾患の分類を述べる。 (E-2-2)-⑦, E-2-4)-(3)-⑥, E-2-4)-(6)-①②③) 3) 上顎洞にみられる疾患の画像所見を述べる。 (E-2-2)-⑦, E-2-4)-(3)-⑥, E-2-4)-(6)-①②③)
4月25日	神尾 崇	ユニット4: Foreign Body	1) 皮下気腫などの緊急時の画像所見を述べる。 (E-1-2)- ⑦⑧⑨) 2) 異所性石灰化物の画像所見を述べる。 (E-1-2)- ⑦⑧⑨) 3) 器具破折時の画像検査について述べる。 (E-1-2)- ⑦⑧⑨)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月9日	飯久保正弘	ユニット5：系統疾患の画像診断	1) 系統疾患の分類を述べる。(E-2-4)-(10)-(6)) 2) 系統疾患の画像所見を述べる。(E-2-4)-(10)-(6))
5月16日	林 宗廣	ユニット6：医療画像情報	1) 病院における医療情報の種類を列記する。 (E-1-2)-(5)) 2) 医療情報の取り扱いについて説明する。 (E-1-2)-(5)) 3) 画像と他の医療情報の相互性について説明する (E-1-2)-(5))
5月30日	岩田 洋	ユニット7：口内法エックス線撮影の実 際	1) 実際の撮影風景の動画を提示し、口内法撮影につ いて必要な知識を系統的に説明する。 (E-1-2)-(6), F-2-2)-(5))
6月6日	神尾 崇	ユニット8：三次元画像の応用	1) CT, MRI などの立体画像データの取り扱いを述べ る。(E-1-2)-(9)) 2) CT, MRI などの立体画像データの取り扱いを述べ る。(E-1-2)-(9))
6月13日	浅海利恵子	ユニット9：放射線生物学	1) 放射線の生物学的効果を説明する。(E-1-2)-(2)) 2) 放射線の細胞への影響を説明する。(E-1-2)-(2)) 3) 正常組織の放射線感受性を説明する。(E-1-2)-(2)) 4) 放射線障害の発現パターンを説明する。 (E-1-2)-(2))
6月20日	柿本 直也	ユニット10：放射線治療 *6/17（火曜9:00-）接着歯科学と交換 予定	1) 放射線治療の原理を説明する。(E-2-4)-(6)-(2③)) 2) 放射線治療の種類を説明する。(E-2-4)-(6)-(2③)) 3) 各種放射線治療の適応を説明する。 (E-2-4)-(6)-(2③)) 4) 放射線治療による副作用について説明する。 (E-2-4)-(6)-(2③))
6月27日	浅海利恵子	ユニット11：放射線の人体への影響と放 射線防護の基本的考え方	1) 確率の影響と確定的影響を分類する。(E-1-2)-(3)) 2) 医療被曝，職業被曝および公衆被曝について説明 する。(E-1-2)-(3)) 3) 正当化・最適化を説明する。(E-1-2)-(3)) 4) 法規に記されている線量限度と管理手段を記述す る。(E-1-2)-(3))
7月4日	神尾 崇	ユニット12：問題演習 1	1) 問題演習を通じて放射線の基礎的事項について説 明する。(E-1-2)-(1②③)) 2) 問題演習を通じてフィルム・デジタルのエックス 線画像の形成，各種エックス線撮影について説明 する。(E-1-2)-(4⑤⑥⑦))
7月11日	浅海利恵子	ユニット13：問題演習 2	1) 特殊撮影の原理と画像の観察法を説明する。 (E-1-2)-(9)) 2) 問題演習を通じて画像診断の手順について説明す る。(E-1-2)-(7⑧⑨))

本学期的学習目標 (GIO)

今まで学んだ口腔の諸機能と補綴学の概要をさらに発展させ、具体的な歯冠補綴装置の製作に当たって修得しなければならない事項について理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

矢谷博文 他編

クラウンブリッジ補綴学

第6版

医歯薬出版

担当者一覧

五味治徳, 上田一彦, 八田みのり, 松田哲治, 海渡智義

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [50%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [1-10%] ☐ レポート [1-10%]
☐ ポートフォリオ [1-10%] ☐ シミュレーションテスト [1-10%] ☐ 実地試験 [1-10%] ☐ 観察記録 [1-10%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間試験 [20%])

オフィスアワー

日時: 第1, 第3火曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	五味 治徳	ユニット1: 支台歯形成	1) 補綴前処置を説明する。(E-3-3)-(1)-④) 2) 支台歯形成の概要について述べる。(E-3-4)-(1)-④) 3) 歯質・歯髄・歯周組織への配慮を説明する。(E-3-4)-(1)-④) 4) 形成前準備を説明する。(E-3-4)-(1)-④) 5) 保持力について説明する。(E-3-4)-(1)-①) 6) 支台歯形態の要件を説明する。(E-3-4)-(1)-①) 7) 補助的保持形態を列記する。(E-3-4)-(1)-①) 8) 切削器械・器具の種類と扱い方を述べる。(D-1-①)
4月11日	海渡 智義	ユニット2: 支台築造	1) 支台築造の臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(1)-③) 2) 支台築造の方法を列記する。(E-3-4)-(1)-③) 3) 支台築造の注意点を列記する。(E-3-4)-(1)-③) 4) 支台築造用材料を列記する。(E-3-4)-(1)-③)
4月18日	八田みのり	ユニット3: 暫間処置	1) 暫間処置の臨床的意義を列記する。(E-3-4)-(1)-⑦) 2) 種類と製作法を述べる。(E-3-4)-(1)-⑦) 3) 暫間修復用材料を述べる。(E-3-4)-(1)-⑦) 4) 仮着材の種類と利点・欠点を列記する。(D-2-③)
4月25日	上田 一彦	ユニット4: 印象採得, 圧排法	1) 印象採得の意義を列記する。(E-3-4)-(1)-⑤) 2) 印象材の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-⑤) 3) 印象法を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-⑤) 4) 歯肉圧排の目的を述べる。(E-3-4)-(1)-⑤)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月9日	五味 治徳	ユニット5：作業用模型・顎間関係の記録	1) 作業用模型の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(9)) 2) 作業用模型の要件を述べる。(E-3-4)-(1)-(9)) 3) 作業用模型の製法を述べる。(E-3-4)-(1)-(9)) 4) 使用される材料を選択する。(E-3-4)-(1)-(8)) 5) 咬合に関する各基準平面を関係づける。 (E-3-4)-(1)-(10)) 6) 咬合器の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(10)) 7) 咬合平面板の原理を説明する。(E-3-4)-(1)-(10)) 8) フェイスボウ記録の原理を説明する。 (E-3-4)-(1)-(10))
5月16日	五味 治徳	ユニット6：咬合器の調節	1) 咬合器の顎路の調節法を列記する。 (E-3-4)-(1)-(10)) 2) 咬合器の種類と顎路の調節法を関係づける。 (E-3-4)-(1)-(10)) 3) チェックバイト法の原理を説明する。 (E-3-4)-(1)-(10)) 4) チェックバイト法の手順を述べる。 (E-3-4)-(1)-(10))
5月30日	五味 治徳	ユニット7：ワックスパターン形成	1) インレーワックスの種類と取り扱いを述べる。 (E-3-4)-(1)-(8)) 2) 分離剤の種類と意義を述べる。(E-3-4)-(1)-(8)) 3) ワックスパターン形成法を列記する。 (E-3-4)-(1)-(2)) 4) 埋没の準備とタイミングを述べる。 (E-3-4)-(1)-(2))
6月6日	五味 治徳	ユニット8：中間試験	前回までの学習内容を整理・再確認する。
6月13日	松田 哲治	ユニット9：埋没	1) 埋没の目的を述べる。(E-3-4)-(1)-(2)) 2) 埋没材の種類を列記する。(E-3-4)-(1)-(2)) 3) 埋没操作の注意事項を述べる。(E-3-4)-(1)-(2))
6月20日	松田 哲治	ユニット10：鑄造（金属，ガラス）	1) 鑄造法を列記する。(E-3-4)-(1)-(2)) 2) 金属融解法を述べる。(E-3-4)-(1)-(2)) 3) 鑄造用金属を列記する。(E-3-4)-(1)-(2)) 4) 鑄造収縮の補正を説明する。(E-3-4)-(1)-(2)) 5) キャスタブルセラミックスを説明する。 (E-3-4)-(1)-(8)) 6) プレッサブルセラミックスを説明する。 (E-3-4)-(1)-(8))
6月27日	松田 哲治	ユニット11：鑄造欠陥，ろう付け，研磨	1) 鑄造欠陥を識別する。(E-3-4)-(1)-(8)) 2) ろう付けについて述べる。(E-3-4)-(1)-(8)) 3) 研磨について説明する。(E-3-4)-(1)-(8)) 4) 不良補綴装置の生体為害性を述べる。 (E-3-4)-(1)-(1))
7月4日	五味 治徳	ユニット12：試適・仮着・合着・術後管理	1) 試適時の検査項目を列記する。(E-3-4)-(1)-(11)) 2) 仮着の意義を述べる。(E-3-4)-(1)-(11)) 3) 合着と接着を対比する。(E-3-4)-(1)-(11)) 4) 術後管理の意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(12)) 5) 患者指導を具体的に述べる。(E-3-4)-(1)-(13))
7月11日	五味 治徳	ユニット13：問題演習および解説	1) 問題演習により学習内容の習熟度を評価する。

本学期的学習目標 (GIO)

歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床で必要な基本術式の知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
沼部幸博, 齋藤 淳, 梅田 誠, 山本松男, 岩田隆紀 編	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
沼部幸博 編	歯周病学サイドリーダー	第6版	学建書院

担当者一覧

沼部幸博, 伊藤 弘, 関野 愉, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 倉治竜太郎

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [60%]
 ☒ 論述試験 [40%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（授業態度, 遅刻, 欠席を含む）[減点式]
 ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：金曜日 18:00~19:00
 場所：100周年記念館 5階 歯周病学講座

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月4日	沼部 幸博	ユニット1：歯周治療の流れ	1) 歯肉病変と歯周炎を分類する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 歯肉病変と歯周炎の特徴を列記する。 (E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の検査の目的と方法を説明する。 (E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断について説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 歯周治療の流れについて説明する。 (E-3-3)-(3)-②)
4月11日	倉治竜太郎	ユニット2：歯周基本治療 (1)	1) 歯周治療における、歯周基本治療の位置づけを述べる。(E-3-3)-(3)-③) 2) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 3) 歯周基本治療の内容を列記する。(E-3-3)-(3)-③) 4) 応急処置が必要な症状とその対応を説明する。 (E-3-3)-(3)-③) 5) 歯周炎罹患歯の抜歯の判定基準を説明する。 (E-3-3)-(3)-③) 6) 不適合充填物・補綴装置の修正と除去について説明する。(E-3-3)-(3)-③)
4月18日	倉治竜太郎	ユニット3：歯周基本治療 (2)	1) 歯周治療におけるモチベーションの重要性を述べる。(E-3-3)-(3)-③) 2) プラークコントロールの必要性を説明する。 (E-3-3)-(3)-③) 3) 手用歯ブラシを用いたブラッシング法を説明する。 (E-3-3)-(3)-③) 4) 補助清掃器具の使用法を説明する。 (E-3-3)-(3)-③) 5) 化学的プラークコントロールの種類、成分とその効果を列記する。(E-3-3)-(3)-③) 6) PMTCの定義、器具・器材、注意点を列挙する。 (E-3-3)-(3)-③)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月25日	倉治竜太郎	ユニット4：歯周基本治療（3）	1）スケーリング・ルートプレーニングの目的を説明する。（E-3-3）-3-③） 2）スケーリング・ルートプレーニングで用いる器具と使用法を列記する。（E-3-3）-3-③） 3）手用スケーラーの構造や特徴を具体的に述べる。（E-3-3）-3-③） 4）手用スケーラーのシャープニングを説明する。（E-3-3）-3-③） 5）パワードリブンスケーラーの特徴と操作法を説明する。（E-3-3）-3-③） 6）スケーリング・ルートプレーニング後の偶発症を説明する。（E-3-3）-3-③） 7）スケーリング・ルートプレーニングの難易度を決める因子を説明する。（E-3-3）-3-③）
5月9日	村樫 悦子	ユニット5：歯周基本治療（4）・再評価	1）知覚過敏症の処置を説明する。（E-3-3-（3）-②） 2）暫間固定を説明する。（E-3-3-（3）-③） 3）咬合調整を説明する。（E-3-3-（3）-③） 4）再評価の意義・目的を説明する。（E-3-3-（3）-②） 5）再評価時の検査項目を説明する。（E-3-3-（3）-②） 6）歯周ポケットの反応性を説明する。（E-3-3-（3）-②）
5月16日	五十嵐寛子	ユニット6：歯周外科治療（1）	1）歯周外科治療の目的を説明する。（E-3-3）-3-④） 2）歯周外科治療の適応・禁忌を説明する。（E-3-3）-3-④） 3）歯周外科器具の名称、用途を説明する。（E-3-3）-3-④） 4）切開線の種類、縫合を説明する。（E-3-3）-3-④） 5）組織付着療法について術式を列記し、特徴を説明する。（E-3-3）-3-④） 6）切除療法について術式を列記し、特徴を説明する。（E-3-3）-3-④） 7）組織付着療法・切除療法の治癒過程を説明する。（E-3-3）-3-⑤）
5月30日	関野 愉	ユニット7：歯周外科治療（2）	1）根分岐部病変の病態について説明する。（E-3-3）-2-③） 2）根分岐部病変の検査と治療方針を説明する。（E-3-3-（3）-②） 3）歯根の保存療法を説明する。（E-3-3-（3）-④） 4）歯根の切除療法を説明する。（E-3-3-（3）-④）
6月6日	関野 愉	ユニット8：歯周外科治療（3）	1）根分岐部病変の検査と治療方針を説明する。（E-3-3-（3）-②） 2）歯根の保存療法を説明する。（E-3-3-（3）-④） 3）歯根の切除療法を説明する。（E-3-3-（3）-④）
6月13日	沼部 幸博	ユニット9：歯周外科治療（4）	1）歯周組織再生療法の基本について述べる。（E-3-3）-（3）-②，③） 2）歯周組織再生療法の創傷治癒過程を説明する。（E-3-3）-（3）-⑤） 3）歯周組織再生療法を分類する。（E-3-3）-（3）-②）
6月20日	沼部 幸博	ユニット10：歯周外科治療（5）	1）GTR法，GBR法について説明する。（E-3-3）-（3）-②） 2）エナメルマトリックスタンパク質および成長因子を応用した再生療法について説明する。（E-3-3）-（3）-②） 3）骨移植術について説明する。（E-3-3）-（3）-②）

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6 月 27 日	伊藤 弘	ユニット11：歯周外科治療（6）	1）歯周形成手術の概念を説明する。（E-3-3）-（3）-②） 2）歯周形成手術の種類を説明する。（E-3-3）-（3）-③） 3）歯周形成手術の適応症を列記する。 （E-3-3）-（3）-③） 4）歯周形成手術の禁忌症を列記する。 （E-3-3）-（3）-③） 5）歯周形成手術の術式を述べる。 （E-3-3）-（3）-④）
7 月 4 日	関野 愉	ユニット12：口腔機能回復治療	1）歯周病患者における矯正治療について説明する。 （E-3-3-（3）-③） 2）歯周病患者における修復，補綴治療について説明する。 （E-3-3-（3）-③） 3）インプラント周囲組織の特徴を説明する。 （E-3-4-（3）-④） 4）インプラント周囲病変を説明する。 （E-3-4-（3）-⑧）
7 月 11 日	伊藤 弘	ユニット13：メンテナンス	1）メンテナンスとSPTの意義と目的について説明する。 （E-3-3）-（3）-②） 2）リコールシステムについて説明する。 （E-3-3）-（3）-②） 3）メンテナンス来院時の検査と治療について説明する。 （E-3-3）-（3）-②）

部分床義歯補綴学

金曜日 14:50~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。

教科書・参考書

著者・編集

著者・編集	書名	版	出版社
志賀 博・横山敦郎・前川賢治編	歯学生のパーシャルデンチャー	第7版	医歯薬出版

担当者一覧

隅田由香, 横山正起, 上杉華子, 小見野真梨恵

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [50%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (中間テスト [20%])

オフィスアワー

日時: 第1, 第3金曜日 16:30~17:30

場所: 100周年記念館4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月4日	隅田 由香	ユニット1: 部分床義歯の定義・分類	1) 部分床義歯補綴の目的と臨床的意義について説明する。(E-3-4)-(2)-①) 2) 部分床義歯の選択に関わる諸因子を説明する。(E-3-4)-(2)-①) 3) ブリッジと部分床義歯の長所と短所を説明する。(E-3-4)-(2)-①) 4) 残存歯と欠損部の位置関係による分類を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 5) 咬合支持による分類を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 6) 分類に基づいた部分床義歯の診断の意義を述べる。(E-3-4)-(2)-⑤)
4月11日	小見野真梨恵	ユニット2: 歯の欠損に伴う形態と機能の変化・部分床義歯の構成要素	1) 歯の欠損に伴って生じる顎堤の変化を説明する。(E-3-4)-(2)-①) 2) 咀嚼系の形態と機能の変化を説明する。(E-3-4)-(2)-①) 3) 補綴治療の意義を述べる。(E-3-4)-(2)-①) 4) 歯の欠損に継発する症候について説明する。(E-3-4)-(2)-①) 5) 部分床義歯の構成要素を述べる。(E-3-4)-(2)-④)
4月18日	上杉 華子	ユニット3: 支台装置 (維持装置) ①	1) 支台装置の目的と要件を述べる。(E-3-4)-(2)-④) 2) 支台装置の構造と機能を述べる。(E-3-4)-(2)-④) 3) 直接維持装置と間接維持装置の違いを説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) 支台装置の働き方について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 5) クラスプの種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-④) 6) クラスプの形態による分類を述べる。(E-3-4)-(2)-④)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月25日	上杉 華子	ユニット4：支台装置（維持装置）②	1) クラスプの製作法または使用材料による分類を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 2) キャストクラスプの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 3) キャストクラスプの形態を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 4) キャストクラスプに必要とされる要件を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 5) ワイヤークラスプの特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 6) ワイヤークラスプの形態を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 7) ワイヤークラスプに必要とされる要件を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4)
5月9日	上杉 華子	ユニット5：中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を評価する。
5月16日	横山 正起	ユニット6：アタッチメント	1) アタッチメントの分類を列記する。(E-3-4)-(2)-(4) 2) アタッチメントの種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 3) クラスプとの相違点を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) 歯冠外アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 5) 歯冠内アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 6) 歯根アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 7) バーアタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 8) 磁性アタッチメントを説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 9) オーバーデンチャーを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)
5月30日	小見野真梨恵	ユニット7：連結装置	1) 連結装置の目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(4) 2) 上顎に应用される連結装置の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 3) 下顎に应用される連結装置の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-(4) 4) 上下顎に应用される連結装置の適応症を説明する。(E-3-4)-(2)-(4) 5) 小連結装置について説明する。(E-3-4)-(2)-(4)
6月6日	隅田 由香	ユニット8：診察・治療計画の立案	1) 部分床義歯患者の初診時において必要とされる診査項目を列挙する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 診査結果の臨床的意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 合理的な治療計画の立案法について述べる。(E-3-4)-(2)-(5)
6月13日	横山 正起	ユニット9：治療計画・設計（義歯の動き）	1) 診査・診断から治療計画立案までの流れを説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 2) 咬合、欠損様式、支台歯の状態が治療計画に及ぼす影響を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 3) 審美性、口腔内感覚、発音、衛生状態が治療計画に及ぼす影響を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 4) 治療計画に影響を及ぼす因子について、その対処法を述べる。(E-3-4)-(2)-(5) 5) 義歯の動きを説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 6) 支台歯間線と維持線を説明する。(E-3-4)-(2)-(5) 7) 近心レストと遠心レストの違いを説明する。(E-3-4)-(2)-(5)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
6 月 20 日	上杉 華子	ユニット10：サベイング	1) 部分床義歯の着脱方向に関連するアンダーカットを説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 2) サベイングの目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(5)) 3) サベイヤーの構造を説明する。(E-3-4)-(2)-(5)) 4) サベイングの手順を具体的に説明する。(E-3-4)-(2)-(5))
6 月 27 日	小見野真梨恵	ユニット11：前処置	1) 前処置の意義と目的を述べる。(E-3-4)-(2)-(5)) 2) 前処置の種類と方法を列挙する。(E-3-4)-(2)-(5)) 3) 咬合平面の修正方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(5))
7 月 4 日	小見野真梨恵	ユニット12：印象採得	1) 欠損状態や支持形式の違いによる各種印象採得法について、その意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 2) 粘膜への圧力別および機能的印象法について説明する。(E-3-4)-(2)-(6)) 3) 各種印象材の特徴を列挙する。(E-3-4)-(2)-(6)) 4) 印象採得時の手順を述べる。(E-3-4)-(2)-(6)) 5) 印象採得時の留意点について述べる。(E-3-4)-(2)-(6))
7 月 11 日	小見野真梨恵	ユニット13：前期授業まとめ	1) 前期学習内容を整理・再確認し、学習内容の習熟度を評価する。